高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組

使用教科書：（大修館書店『新編 言語文化』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国に言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		語・聞	書	読					
1 学 期	I 単元名：漢文に親しむ 【知識及び技能】 (2)ア 【思考力、判断力、表現力等】 B(1)オ 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。(以下、同)	○指導事項 ・漢文の訓読のきまりについて指導する。 ○学習材 「訓読のきまり」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成	○	○	【知識・技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。(2)ア) 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。(B(1)オ) 【主体的に学習に取り組む態度】 漢文に興味を持ち、意欲的に漢文を読む学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	II 単元名：漢文を読む 【知識及び技能】 (2)ウ 【思考力、判断力、表現力等】 B(1)ア 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)	○指導事項 ・「蛇足」という言葉の意味について、考えられるよう指導する。 ○学習材 「蛇足」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成			【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。(2)ウ) 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。(B(1)ア) 【主体的に学習に取り組む態度】 故事成語の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとしている。	○	○	○	11
	定期考査					○	○	○	1
	III 単元名：物語に親しむ 【知識及び技能】 (1)エ 【思考力、判断力、表現力等】 B(1)ウ 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)	○指導事項 ・登場人物の人間関係や心理を考えるよう指導する。 ○学習材 「みずかまきり」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成			【知識・技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。(1)エ) 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。(B(1)ウ) 【主体的に学習に取り組む態度】 文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	○	○	○	12
	IV 単元名：本を紹介する 【知識及び技能】 (2)カ 【思考力、判断力、表現力等】 B(1)エ 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)	○指導事項 ・登場人物の描写から人物像を捉えるよう指導する。 ○学習材 「とんかつ」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成			【知識・技能】 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。(2)カ) 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。(B(1)エ) 【主体的に学習に取り組む態度】 文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	○	○	○	11
定期考査					○	○	○	1	

2 学 期	V 単元名：平和を考える 【知識及び技能】 (1) ウ 【思考力、判断力、表現力等】 A (1) イ 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)	○指導事項 ・文章を踏まえた自分の思いや考えを書けるよう指導する。 ○学習材 「コルベ神父」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成			○	【知識・技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現のしかたを工夫している。(A(1)イ) 【主体的に学習に取り組む態度】 時代背景や歴史的事実に興味を持ち、筆者の考えを踏まえ、自分の思いや考えを書こうとしている。	○	○	○	10
	VI 単元名：物語を要約する 【知識及び技能】 (1) イ 【思考力、判断力、表現力等】 A (1) ア 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)	○指導事項 ・表現の仕方に着目しながら、要約ができるよう指導する。 ○学習材 「祖母が笑うということ」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成			○	【知識・技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。(A(1)ア) 【主体的に学習に取り組む態度】 作品に興味を持ち、場面の様子や人物の心情を想像したり文章表現を味わいながら、要約文を書こうとしている。	○	○	○	11
	定期考査				○		○	○	○	1
	VII 単元名：古文に親しむ 【知識及び技能】 (2) イ 【思考力、判断力、表現力等】 B (1) ウ 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)	○指導事項 ・古典の言葉と現代の言葉のつながりについて指導する。 ○学習材 「古文の言葉と仮名遣い」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成			○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。(2)イ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。(B(1)ウ) 【主体的に学習に取り組む態度】 古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。	○	○	○	12
VIII 単元名：古文を楽しむ 【知識及び技能】 (2) ウ 【思考力、判断力、表現力等】 B (1) イ 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)	○指導事項 ・事件の展開と、登場人物の行動について指導する。 ○学習材 「阿蘇の史、盗人に会ひてのがるること」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成			○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。(2)ウ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。(B(1)イ) 【主体的に学習に取り組む態度】 作品に興味をもち、事件の展開や登場人物の行動を読み取ろうとしている。	○	○	○	11	
定期考査					○		○	○	○	1
3 学 期	IX 単元名：伝統文化に親しむ 【知識及び技能】 (1) オ 【思考力、判断力、表現力等】 B (1) イ 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)	○指導事項 ・それぞれの作品に描かれている情景や心情について指導する。 ・受け継がれてきた伝統的な遊びについて体感する。 ○学習材 「詩歌の調べ」 「いろはカルタの世界」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成			○	【知識・技能】 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法について理解している。(1)オ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。(B(1)イ) 【主体的に学習に取り組む態度】 四季の詩歌を読むことに興味をもち、詩の形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	○	○	○	12
	定期考査					○		○	○	○
合計										
105										

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組

使用教科書：（大修館書店『新編 現代の国語』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国に言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
A 単元 読む「まだ知らない自分に出会う」 【知識及び技能】 ・常用漢字を理解し、文や文章の中で使う。 ・語句や語彙の量を増やし、話や文章の中で使う。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成、論理尾展開について、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 対話のコミュニケーションの意味を理解し、対話による「まだ知らない自分」に出会った経験を話し合う。	・指導事項 ・対話についての考え方に注意しながら、本文を通読する。 ・筆者の考える読書が、どのようなものであるかを理解する。 ・筆者の考える読書が、どのようなものであるかを理解する。 ・本文の論旨をもとに「まだ知らない自分に出会う」機会について読み取り、まとめる。			○	【知識・技能】 ・常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会に必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法や表記の仕方を理解し、語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで対話がもつコミュニケーションの意味を理解し、対話によって「まだ知らない自分」に出会った経験を話し合おうとしている。	○	○	○	10
B 単元 話す・聞く「分かりやすい説明をする」 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割を踏まえ、表現や言葉遣いを理解し、使う。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるように、話の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、話の構成や展開を工夫して話す。	・指導事項 ・夏休みをどのように過ごしたかの説明A,Bを比べる活動を通して、「分かりにくい説明」と「分かりやすい説明」の違いを考える。 ・「目的意識」「論理性」「相手意識」の三つの観点から「分かりやすい説明」のポイントを理解する。 ・自分の学校の行事を説明するという設定で、「リストアップ」「ナンバリング」の順に説明内容を整理する。 ・課題の中から一つを選び、これまでに学習した点順にしたがって、課題に即したロールプレイを行う。			○	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思考・判断・表現】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にし、話の構成や展開を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。	○	○	○	10
定期考査						○	○		1

1 学期

<p>C 単元「水の東西」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字を書き、文章の中で使う。 ・文章の組み立て方や接続の仕方を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 ・内容を解釈、文章の構成や論理の展開を評価し、自分の考えを深める。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>東西文化の理解を深め、自分の興味や関心を他者に伝える。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鹿おどし」と「噴水」の違いに着目して全文を通読する。 ・「鹿おどし」の具体的な動きと、「鹿おどし」を見て筆者が感じ取ったことを表現に即して読み取る。 ・「鹿おどし」に対するニューヨークの人々の反応と西洋の噴水の様子を表現に即して読み取る。 ・日本人が噴水を作らなかった理由をつかみ、「鹿おどし」と「噴水」の水に対するとらえ方の違いを理解する。 <p>水に対する日本人の感性を筆者の考え方に沿ってとらえ、日本人の感性の特質と「鹿おどし」の関係を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「思考への扉」を通読する。 ・日本文化について興味や関心をもったことを、二分間程度でスピーチする。 		○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において目的に応じて、文章や図表などに含まれる情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>定期考査</p>					○	○		1
<p>D 単元「新聞記事をもとに問いを作り意見をまとめる」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会で適切な題材を決め、情報を吟味して伝えたいことを明確にする。 ・読み手の理解を得られるよう、文章の構成や展開を工夫する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>自分の意見を文章としてまとめ、グループ内で話し合う。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れを読み、活動のポイントの見直しをもつ。 ・グループごとに複数の新聞記事に目を通し、興味のある新聞記事を探し、選ぶ。 <p>新聞記事の割り付けを参考に、「記事情報カード」に記入しながら、選んだ記事の内容を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QFTによる七段階からなる問づくりの方法を確認するとともに、問いの焦点を定め、問づくりのルールを確認する。 ・グループごとに、記事情報カードをもとに、QFTによる問いを作る。 ・問いに優先順位をつけて、最終的に一つに絞り、選ぶ理由をグループ内で話し合う。 ・記事情報カードを活用し、選んだ問いをもとに意見をまとめ、意見文を書く。 ・意見をまとめるという活動をするうえで、QFTの1～6の各プロセスでは適切にこなせたのかを振り返り、グループ内で、できたこと、できなかったことを話し合う。 		○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、読み手の理解を得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>積極的に情報の収集や整理をし、学習課題に沿って伝える相手の理解が得られるように、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を意識して、自分の意見を文章としてまとめ、グループ内で話し合おうとしている。</p>	○	○	○	10
<p>定期考査</p>					○	○		1

	<p>A 単元 読む「真の自立とは」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 ・語句の量を増やすとともに、語句や語彙を理解し語彙を豊かにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>文章の内容や構成、論理の展開について、要旨や要点を把握する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>対話のコミュニケーションの意味を理解し、対話による「まだ知らない自分」に出会った経験を話し合う。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二つの意味段落の内容を押さえながら、本文を通読する。 ・現代社会における「できる」「できない」の構造と、それが人生に及ぼしている影響について読み取り、まとめる。 ・筆者の主張する「自立」について、現代社会で混同して使われている「独立」という言葉との違いも踏まえて読み取り、まとめる。 ・「私たちが真の自立を身につけていくことではないでしょうか。」という筆者の問いかけについて、考えたことを六〇〇字程度の文章にまとめる。 		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法、および表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して語彙を豊かにしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において目的に応じて文章や図表などに含まれる情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>積極的に現代の状況に関心をもち、筆者が述べる内容を理解し、自分の考えを深め、今までの学習を生かして「自立」という観点から他者と話し合いをしようとして、自分の考えをまとめようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p> <p>10</p>
定期考査				○ ○	1
3 学期	<p>A 単元 読む「白」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ・読書に意義と効用について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容の構成、論理の展開などについて的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>「新たな知の基準」に対する自分の考えをまとめる。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文に述べられている「白」の持つ意味について考えながら、本文を通読する。 ・「白」が人間の意識に及ぼしている影響について読み取り、まとめる。 ・「推敲」という美意識を手がかりに筆者の言う「白という感受性」とはどのようなものかを読み取り、まとめる。 ・「人間の境界」を通読したうえで、インターネットが生み出す「新たな知の基準」と「推敲」の美意識の違いを読み取り、まとめる。 ・『徒然草』の例によって示された「白」の持つ意味を、本文の論旨を基によみとり、まとめる。 ・筆者の言う「白という感受性」とインターネット時代の感受性を比較し、意見文を書く。 		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において目的に応じて文章や図表などに含まれる情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>積極的に筆者の示す「白」について理解を深め、今までの学習を生かして「新たな知の基準」に対する自分の考えをまとめようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p> <p>15</p>
定期考査				○ ○	1
				○ ○	合計
					70

年間授業計画様式例

豊島高等学校 令和5年度 教科国語 科目現代文B 年間授業計画

教科：国語 科目：現代文B 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組

使用教科書：(大修館書店『新編 現代文B』)

使用教材：()

指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>4月</p> <p>「迷う」力のすばらしさ</p> <p>○段落構成について指導する。</p> <p>○自分自身のことを内省するよう指導する。</p> <p>(帯単元)</p> <p>○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】</p> <p>○内容を理解する。</p> <p>○自分の進路を考える。</p> <p>【言語活動】</p> <p>○自己分析をする。</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等</p> <p>○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等</p> <p>○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】</p> <p>○行動の確認</p> <p>○記述の点検(ノート)</p>	<p>3</p>

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	<p>「迷う」力のすばらしさ</p> <p>○自分自身のことを内省するよう指導する。</p> <p>(帯単元)</p> <p>○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】</p> <p>○内容を理解する。</p> <p>○自分の進路を考える。</p> <p>【言語活動】</p> <p>○自己PRを作成する。</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等</p> <p>○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等</p> <p>○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】</p> <p>○行動の確認</p> <p>○記述の分析(ノート, リフレクションシート)</p>	7

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	<p>星の王子さま ○内容を理解できるよう指導する。</p> <p>(帯単元) ○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】 ○物語に親しむとともに楽しむ。</p> <p>【言語活動】 ○本紹介のスライドを作成する。</p>	<p>【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等 ○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等 ○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】 ○行動の確認 ○記述の点検(ノート)</p>	7

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	<p>星の王子さま ○本を紹介するため、自分の好きな本を探そう促す。</p> <p>(帯単元) ○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】 ○自らの読書経験を広げる。</p> <p>【言語活動】 ○本紹介のスライドを作成する。</p>	<p>【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト、教科書教材の内容等 ○【思考・判断・表現】記述問題、スライド作成等 ○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート、記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】 ○行動の確認 ○記述の分析(ノート、リフレクションシート)</p>	7

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	<p>言葉は変わるもの、されど伝承すべきもの ○公な場での言葉遣いについて指導する。</p> <p>(帯単元) ○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】 ○本文の読解をする。 ○公な場での言葉遣いについて考える。</p> <p>【言語活動】 ○敬語について学び、実の場を設定し使ってみる。</p>	<p>【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等 ○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等 ○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】 ○行動の分析 ○記述の点検(ノート)</p>	7

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	<p>言葉は変わるもの、されど伝承すべきもの ○公な場での言葉遣いについて指導する。</p> <p>(帯単元) ○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】 ○公な場での言葉遣いについて考える。</p> <p>【言語活動】 ○敬語について学び、実の場を設定し使ってみる。</p>	<p>【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等 ○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等 ○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】 ○行動の分析 ○記述の分析(ノート, リフレクションシート)</p>	7

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	<p>山月記 ○物語の内容を分かりやすく伝える。</p> <p>(帯単元) ○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】 ○物語に親しむとともに楽しむ。 ○漢文訓読調の文に慣れる。</p> <p>【言語活動】 ○要約文を書く。 ○感想文を書く。</p>	<p>【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等 ○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等 ○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】 ○行動の確認 ○記述の点検(ノート)</p>	7

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	<p>山月記</p> <p>○要約文を書くためのコツ等を指導する。</p> <p>(帯単元)</p> <p>○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】</p> <p>○内容を理解した上で, 要約文を書く。</p> <p>【言語活動】</p> <p>○要約文を書く。</p> <p>○感想文を書く。</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等</p> <p>○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等</p> <p>○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】</p> <p>○行動の確認</p> <p>○記述の分析(ノート, リフレクションシート)</p>	7

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	<p>和歌(散文) ○和歌のきまりについて指導する。</p> <p>(帯単元) ○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】 ○散文, 特に和歌に親しむ。</p> <p>【言語活動】 ○和歌を用いたあそびを実践する。</p>	<p>【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等 ○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等 ○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】 ○行動の分析</p>	7

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	<p>贈る言葉 ○テーマに沿って創作するよう指導する。</p> <p>(帯単元) ○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】 ○構想を立て、テーマに沿って創作する。</p> <p>【言語活動】 ○テーマに沿った散文を創作する。</p>	<p>【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等 ○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等 ○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】 ○行動の観察 ○記述の点検(ノート)</p>	7

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	<p>贈る言葉 ○テーマに沿って創作するよう指導する。</p> <p>(帯単元) ○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】 ○構想を立て、テーマに沿って創作する。</p> <p>【言語活動】 ○テーマに沿った散文を創作する。</p>	<p>【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等 ○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等 ○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】 ○行動の観察 ○記述の点検(ノート)</p>	4

年間授業計画様式例

豊島高等学校 令和5年度 教科国語 科目現代文B 年間授業計画

教科：国語 科目：現代文B 単位数：3単位

対象学年組：第4学年A組

使用教科書：(大修館書店『新編 現代文B』)

使用教材：()

指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>4月</p> <p>「迷う」力のすばらしさ</p> <p>○段落構成について指導する。</p> <p>○自分自身のことを内省するよう指導する。</p> <p>(帯単元)</p> <p>○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】</p> <p>○内容を理解する。</p> <p>○自分の進路を考える。</p> <p>【言語活動】</p> <p>○自己分析をする。</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等</p> <p>○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等</p> <p>○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】</p> <p>○行動の確認</p> <p>○記述の点検(ノート)</p>	<p>5</p>

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	<p>「迷う」力のすばらしさ</p> <p>○自分自身のことを内省するよう指導する。</p> <p>(帯単元)</p> <p>○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】</p> <p>○内容を理解する。</p> <p>○自分の進路を考える。</p> <p>【言語活動】</p> <p>○自己PRを作成する。</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等</p> <p>○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等</p> <p>○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】</p> <p>○行動の確認</p> <p>○記述の分析(ノート, リフレクションシート)</p>	10

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	<p>就職活動ワークシート</p> <p>○キャリア教育の視点から書く力, 話す・聞く力を総合的に指導する。</p> <p>(帯単元)</p> <p>○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】</p> <p>○社会に必要な書く力, 話す・聞く力を身に付ける。</p> <p>【言語活動】</p> <p>○自己PRを作成する。</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等</p> <p>○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等</p> <p>○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】</p> <p>○行動の確認</p> <p>○記述の点検(課題)</p>	10

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	<p>就職活動ワークシート</p> <p>○キャリア教育の視点から書く力, 話す・聞く力を総合的に指導する。</p> <p>(帯単元)</p> <p>○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】</p> <p>○社会に必要な書く力, 話す・聞く力を身に付ける。</p> <p>【言語活動】</p> <p>○模擬面接をする。</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等</p> <p>○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等</p> <p>○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】</p> <p>○行動の確認</p> <p>○記述の点検(課題)</p>	10

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	<p>言葉は変わるもの、されど伝承すべきもの ○公な場での言葉遣いについて指導する。</p> <p>(帯単元) ○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】 ○本文の読解をする。 ○公な場での言葉遣いについて考える。</p> <p>【言語活動】 ○敬語について学び、実の場を設定し使ってみる。</p>	<p>【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等 ○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等 ○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】 ○行動の分析 ○記述の点検(ノート)</p>	10

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	<p>言葉は変わるもの、されど伝承すべきもの ○公な場での言葉遣いについて指導する。</p> <p>(帯単元) ○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】 ○公な場での言葉遣いについて考える。</p> <p>【言語活動】 ○敬語について学び、実の場を設定し使ってみる。</p>	<p>【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等 ○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等 ○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】 ○行動の分析 ○記述の分析(ノート, リフレクションシート)</p>	10

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	<p>山月記 ○物語の内容を分かりやすく伝える。</p> <p>(帯単元) ○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】 ○物語に親しむとともに楽しむ。 ○漢文訓読調の文に慣れる。</p> <p>【言語活動】 ○要約文を書く。 ○感想文を書く。</p>	<p>【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等 ○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等 ○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】 ○行動の確認 ○記述の点検(ノート)</p>	10

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	<p>山月記</p> <p>○要約文を書くためのコツ等を指導する。</p> <p>(帯単元)</p> <p>○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】</p> <p>○内容を理解した上で, 要約文を書く。</p> <p>【言語活動】</p> <p>○要約文を書く。</p> <p>○感想文を書く。</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等</p> <p>○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等</p> <p>○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】</p> <p>○行動の確認</p> <p>○記述の分析(ノート, リフレクションシート)</p>	10

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	<p>和歌(散文) ○和歌のきまりについて指導する。</p> <p>(帯単元) ○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】 ○散文, 特に和歌に親しむ。</p> <p>【言語活動】 ○和歌を用いたあそびを実践する。</p>	<p>【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等 ○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等 ○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】 ○行動の分析</p>	10

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	<p>卒業文集 ○卒業文集を作成するよう, 指導する。</p> <p>(帯単元) ○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】 ○卒業に向けて, 自分の学校生活を振り返る。</p> <p>【言語活動】 ○テーマに沿った散文を創作する。</p>	<p>【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等 ○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等 ○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】 ○行動の観察 ○記述の点検(ノート)</p>	10

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	<p>卒業文集 ○卒業文集を作成するよう、指導する。</p> <p>(帯単元) ○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】 ○卒業に向けて、自分の学校生活を振り返る。</p> <p>【言語活動】 ○テーマに沿った散文を創作する。</p>	<p>【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等 ○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等 ○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】 ○行動の観察 ○記述の分析(ノート, リフレクションシート)</p>	10

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年

使用教科書：（『高等学校 公共』（帝国書院））

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
[なぜ「公共」を学ぶのか] 【思考力、判断力、表現力等】 ・科目の特性や学ぶ意義などについて考察し、表現する。	・指導項目 オリエンテーション（1年間の授業の進め方について、公共を学ぶ理由についてなど） ・使用教材 教科書、授業プリント 一人1台端末 使用方法やルールについて確認	【思考力、判断力、表現力等】 ・科目の特性や学ぶ意義などについて考察し、表現している。		○		1
[社会の中の私たち] 【知識及び技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、人間としての在り方生き方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会に参画する自立した主体とは、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により公共的な空間を作る存在であることについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・公共的な空間を作る私たち、公共的な空間における人間としての在り方生き方などを視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導項目 1 現代の社会 2 青年期の課題 3 ジェンダーについて 4 学ぶことの意義 5 社会参画とキャリア 6 宗教について考える 7 日本の思想と伝統文化 ・使用教材 教科書、授業プリント ・一人一台端末 諸資料の検索やまとめに使用	【知識及び技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、人間としての在り方生き方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会に参画する自立した主体とは、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により公共的な空間を作る存在であることについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・公共的な空間を作る私たち、公共的な空間における人間としての在り方生き方などを視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1

1 学 期	<p>【思想から学ぶべきもの】</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・人間は個人として相互に尊重されるべき存在であることを理解するとともに、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れることなどを通して、自らの価値観を形成し、他者の価値観を尊重することができる存在であることについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用しながら、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・公共的な空間を作る私たち、公共的な空間における人間としての在り方生き方などを視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 古代ギリシアの思想 2 古代中国の思想 3 近代西洋の思想 4 現代の思想 <p>・使用教材</p> <p>教科書、授業プリント</p> <p>・一人一台端末</p> <p>諸資料の検索やまとめに使用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・人間は個人として相互に尊重されるべき存在であることを理解するとともに、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れることなどを通して、自らの価値観を形成し、他者の価値観を尊重することができる存在であることについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用しながら、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・公共的な空間を作る私たち、公共的な空間における人間としての在り方生き方などを視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>【私たちの社会の基本原則】</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由と権利、責任と義務など、公共的な空間における基本的原理について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・公共的な空間における基本的原理について、概念的な枠組みなどを用いて考察する活動を通して、個人と社会の関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・公共的な空間における基本的原理について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 近代立憲主義の原理とその広がり 2 日本国憲法 3 平等に生きる権利 4 自由に生きる権利 5 人間らしく生きる権利 6 広がる人権の考え方 7 人権保障の国際的広がり <p>・使用教材</p> <p>教科書、授業プリント</p> <p>・一人一台端末</p> <p>諸資料の検索やまとめに使用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由と権利、責任と義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・公共的な空間における基本的原理について、概念的な枠組みなどを用いて考察する活動を通して、個人と社会の関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・公共的な空間における基本的原理について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	9
定期 考 査				○	○		1

2 学期	<p>〔私たちと法〕 【知識及び技能】 ・法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて意見や利害を公平かつ公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序や形成、維持されていくことについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・指導項目 1 社会規範と法 2 私たちの生活と法 3 契約の考え方 4 消費者の権利と責任 5 司法の役割 6 刑事裁判とその課題 ・使用教材 教科書、授業プリント ・一人一台端末 諸資料の検索やまとめに使用</p>	<p>【知識及び技能】 ・法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて意見や利害を公平かつ公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序や形成、維持されていくことについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>〔私たちと政治-民主社会と政治参加-〕 【知識及び技能】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・指導項目 1 政治と権力 2 議院内閣制と国会 3 権力分立と行政の役割 4 地方自治の役割 5 政党政治とメディア 6 選挙制度とその課題 ・使用教材 教科書、授業プリント ・一人一台端末 諸資料の検索やまとめに使用</p>	<p>【知識及び技能】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
定期考査				○	○		1

<p>〔私たちと政治-国際政治の動向と平和の追求-〕 【知識及び技能】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・指導項目 1 国家と国際法 2 日本の主権と領土 3 平和主義と日本の防衛政策 4 日本の安全保障 5 国際連合の役割 6 紛争とテロリズム 7 核兵器と軍縮の課題 8 国際協力と日本の役割</p> <p>・使用教材 教科書、授業プリント</p> <p>・一人一台端末 諸資料の検索やまとめに使用</p>	<p>【知識及び技能】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>〔私たちと経済-市場経済のしくみ-〕 【知識及び技能】 ・職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実、安定化、市場経済の機能と限界、金融の動き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・指導項目 1 経済とその考え方 2 市場のメリットと限界 3 企業の目的と役割 4 金融の役割 5 政府の役割と財政 6 日本の財政の課題 7 経済の変動</p> <p>・使用教材 教科書、授業プリント</p> <p>・一人一台端末 諸資料の検索やまとめに使用</p>	<p>【知識及び技能】 ・職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実、安定化、市場経済の機能と限界、金融の動き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>定期考査</p>			○	○		1

3 学 期	<p>【私たちと経済-豊かな社会の実現と国際経済の動向-】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実、安定化、市場経済の機能と限界、金融の動き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 	<p>・指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 産業構造の変化 2 中小企業と農業 3 労働者の権利 4 雇用と労働に関する課題 5 社会保障の役割と課題 6 国際経済のしくみ 7 国際経済の枠組み 8 地域経済統合 9 グローバル化と自由貿易協定 10 国際経済の変化と課題 11 経済格差の是正 <p>・使用教材 教科書、授業プリント</p> <p>・一人一台端末 諸資料の検索やまとめに使用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実、安定化、市場経済の機能と限界、金融の動き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	○	○	○	12	
	<p>【持続可能な社会の実現に向けて】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の創造、よりよい国家や社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 	<p>・指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 課題の設定と情報の読み取り 2 情報の整理と課題の探究 3 探究結果の表現 <p>・使用教材 教科書、授業プリント</p> <p>・一人一台端末 諸資料の検索やまとめに使用</p>	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の創造、よりよい国家や社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 			○	○	3
	定期考査				○	○		1
							合計	
							70	

※3 1単位35時間になるように作成してください→

高等学校 令和5年度（2学年） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年

使用教科書：『わたしたちの地理総合』（二宮書店） 『コンパクト地理総合地図』（二宮書店）

教科 地理歴史 の目標：

現代世界の地域的特色に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べ【知識及び技能】まとめている。

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災・地域や地球的課題への取り組みなどを理解しているとともに、地図やGISなどを用いて諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、相互依存作用などに着目しつつ概念などを活用し、多角的・多面的に考察したり、地理的課題の解決に向けて構想、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについて自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
地図でとらえる現代世界 【知識及び技能】 地図の読図などを基に、地図や地理情報システム（GIS）の役割や有用性などについて理解している。地図やGISを用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 地図やGISについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 地図やGISを活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・緯度経度、地図の種類、統計地図、GISなど ・教材 教科書・地図帳 ・一人1台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。	【知識・技能】 地図の読図などを基に、地図や地理情報システム（GIS）の役割や有用性などについて理解している。地図やGISを用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図やGISについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図やGISを活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。				5
結び付きを深める現代世界 【知識及び技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・領域の三要素、国境、排他的経済水域、国際連合、南北・南南問題、グローバル化と通信技術など ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解できている。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる地形的特徴や自然との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形的特徴や自然とによってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。				5
中間考査						1
1学期 世界の地形と人々の生活 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を、地形に由来する自然環境から影響を受けたり、あるいは影響を与えたりして多様性をもつことや、自然環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる地形的特徴や自然との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 地形的特徴や自然とによってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。	・営力、変動帯、安定地域、プレート、火山、地震、河川地形、海岸地形、氷河地形、地形が生活に与える影響など ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を、地形に由来する自然環境から影響を受けたり、あるいは影響を与えたりして多様性をもつことや、自然環境の変化によって変容することなどについて理解できている。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる地形的特徴や自然との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形的特徴や自然とによってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。				9
世界の気候と人々の生活 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が気候から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、気候の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や気候との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と生活文化の関係性に着目して、人間の生活の工夫について主体的に追究、解決しようとしている。	・大気の大循環、ケッペンの気候区分、気候区分ごとの植生、気候と生活文化（衣食住）の関係性、モンスーンなど ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が気候から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、気候の変化によって変容することなどについて理解できている。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や気候との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 気候変動によってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。				9
期末考査						1

教科

科目

対象 ~ 年組

教科担当者名 年組 年組 年組 印

使用教科書

教科担当者名 年組 年組 年組 印

使用教材

教科担当者名 年組 年組 年組 印

学期	月	指導内容	科目 日本史A の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数
1 学期	4 月	日本史Aオリエンテーション	1年間の授業のコンセプトを説明する。 【授業規律や提出物、評価基準、学ぶ目的など】		1
		開国から明治時代にかけての歴史	江戸時代の対外政策や、明治維新による日本の変化について簡潔に理解する。	発問・プリント記述だけでなく授業態度などで総合的に評価。	3
	5 月	第一次世界大戦下の社会	第一次世界大戦の概要を理解する。 日本の参戦とロシア革命が第一次世界大戦に与えた影響を考える。	発問・プリント記述だけでなく授業態度などで総合的に評価。	3
		ヴェルサイユとレニングラード 日本の植民地	第一次世界大戦が日本国内外に与えた影響を理解する。 朝鮮・中国で起こった民族運動の流れを理解する。		2
		中間考査前総復習	流れがつかみにくい箇所を丁寧に復習する。		1
		中間考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1
		中間考査後のまとめ	誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1
	6 月	ワシントン体制とアジア 都市化と市民文化	ワシントン体制と戦後の日米関係について理解する。 社会運動の展開過程と関東大震災について理解する。 この時代の文化や学問、芸術について理解する。	発問・プリント記述だけでなく授業態度などで総合的に評価。	3
		大日本帝国の選択肢	政党内閣の成立と第二次護憲運動について理解する。		3
		昭和恐慌	第一次世界大戦後の日本経済停滞の理由を学ぶ。 経済界の不安定さが生んだ社会不安の具体的内容を学ぶ。		2
		期末考査前総復習	流れがつかみにくい箇所を丁寧に復習する。		2
	7 月	期末考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1
		期末考査後のまとめ	誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1

--	--	--	--	--

9月	満州事変 モダン都市と危機の農村	満州事変から満州国の成立までの流れを理解する。 軍部の台頭により五・一五事件や二・二六事件が起きた経緯を学ぶ。	発問・プリント記述だけでなく授業態度などで総合的に評価。	2
	日中戦争	第一次世界大戦後の国際情勢を理解する。 日中戦争勃発までの流れを理解し、なぜ長引いたかを考察する。		2
	総動員の時代	満州事変後に思想・言論統制が厳しくなったこと理由を考える。 戦時下の文化に触れ、当時の国民の様子を知る。		2
	戦時体制の確立	国家の総力が戦争に集中した結果、どのような法令が成立していったかを理解する。 日本のファシズム体制確立までの流れを理解する。		2
10月	アジア太平洋戦争①	第二次世界大戦の概要を理解する。	発問・プリント記述だけでなく授業態度などで総合的に評価。	2
	中間考査前総復習	流れがつかみにくい箇所を丁寧に復習する。		1
	中間考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1
	中間考査後のまとめ	誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1
	アジア太平洋戦争②	太平洋戦争が起こるまでの日米交渉の経緯と勃発を学ぶ。		2
11月	戦時下の社会と抵抗	戦時下に国民の生活も戦争に染まっていったことに気付く。 また国民生活の悪化の結果どのような制度ができたか理解する。	発問・プリント記述だけでなく授業態度などで総合的に評価。	2
	大東亜共栄圏	太平洋戦争戦局の流れを学ぶ。 日本政府が掲げた大東亜共栄圏の言葉の意味を考える。		2
	アジアのなかの「敗戦」 敗戦前後の暮らし	ポツダム宣言の発表内容に触れる。 東京大空襲や沖縄戦、原子爆弾投下からの終戦までを学ぶ。		2
	戦後の世界 日本占領	アメリカの日本占領の内容を学ぶ。 日本の敗戦により占領していたアジア諸地域がどうなったかを学ぶ。		2
	国民主権と日本国憲法 民主主義とアメリカ化	日本国憲法の成立過程を学ぶ。 財閥解体・農地改革・教育の民主化など戦後の重要課題を学ぶ。		2
	期末考査前総復習	流れがつかみにくい箇所を丁寧に復習する。		1
12月	期末考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1
	期末考査後のまとめ	誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1

1 月	朝鮮戦争	アジアにおける冷戦体制と占領政策について理解する。 朝鮮戦争がもたらしたものについて考察する。	発問・プリント記述だけでなく 授業態度などで総合的に評 価。	2	
	サンフランシスコ体制	サンフランシスコ平和条約の内容を理解する。 日米安全保障条約と平和憲法について考える。			
	沖縄と旧植民地 平和運動の展開	敗戦後の北海道(アイヌ民族)や沖縄について学ぶ。 平和運動の展開過程と内容をまとめる。			
	戦後の社会と文化 55年体制と安保	戦後、日本社会がどのように復興していったのかを探る。 55年体制と国際社会への復帰過程を理解する。			
3 学 期 2 月	日韓条約とベトナム戦争 沖縄返還と日中関係	日韓交渉と日韓条約について理解する。 ベトナム戦争について理解する。 沖縄返還協定と日中関係について考察する。	発問・プリント記述だけでなく 授業態度などで総合的に評 価。	3	
	首都圏と太平洋ベルト地帯 石油危機	高度経済成長の時代に日本はどう変わったのかを理解する。 石油危機と日本経済の変化について理解する。			2
	冷戦体制の終焉 グローバル化の時代	冷戦体制の終焉についてまとめる。 湾岸戦争について理解する。			2
3 月	学年末考査前総復習	流れがつかみにくい箇所を丁寧に復習する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1	
	学年末考査	生徒の学力に合っているか確認する。		1	
	学年末考査後のまとめ	誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1	
				70	

教科 公民

科目 政治・経済

対象 4年 A組 ~ 年 組

教科担当者名 4年 A組 年 組 印

使用教科書 高等学校 新政治・経済(清水書院)

教科担当者名 年 組 年 組 印

使用教材 教科書・補助プリント等

教科担当者名 年 組 年 組 印

学期	月	指導内容	科目 政治・経済 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数
1 学期	4 月	政治・経済オリエンテーション	1年間の授業のコンセプトを説明する。 ※時事問題については適宜取り扱うこととする。		1
		戦後日本経済のあゆみ 農業と食料問題	3年次に学習した日本史(戦後史)の内容を踏まえ、戦後の日本社会や経済について理解する。 ※3年次の3学期に戦後史について学習したため、順序を入れ替えて実施する。	発問・プリント記述だけでなく 授業態度などで総合的に評価。	5
1 学期	5 月	経済活動の意義	経済活動とは何かを考察する。 経済的な見方や考え方を理解する。	発問・プリント記述だけでなく 授業態度などで総合的に評価。	2
		経済活動社会の変容と経済思想	資本主義経済と社会主義経済について理解する。 第二次世界大戦後の経済について理解する。		4
		中間考査前総復習	流れがつかみにくい箇所を丁寧に復習する。		1
		中間考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1
		中間考査後のまとめ	誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1
1 学期	6 月	三つの経済主体と経済の循環	三つの経済主体について考察する。 経済循環の仕組みと市場について理解する。	発問・プリント記述だけでなく 授業態度などで総合的に評価。	3
		価格と市場の役割	需要と供給について考察する。 曲線を用いて、価格の自動調整作用について理解する。		3
		市場機構の限界	不完全競争市場について理解する。 市場の失敗について考察する。		3
		現代の企業 物価変動と国民生活	株式会社の仕組みについて理解する。 デフレとインフレについて考察する。		3
		経済成長と景気変動	国内総生産や国民総生産といった経済指標について理解する。 景気循環の4局面について理解する。		3
1 学期	7 月	期末考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1
		期末考査後のまとめ	誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1

--	--	--	--	--

9月	政府の経済的役割 租税と国債	財政の仕組みと機能について理解する。 租税の在り方や国債について考察する。	発問・プリント記述だけでなく 授業態度などで総合的に評 価。	3
	日本財政の課題	「政府の失敗」について理解する。 現代の日本の経済状況について考察する。		2
	貨幣の役割と金融	貨幣の役割と種類について理解する。 金融とは何かを理解する。		3
	金融市場と金融政策	金融市場の仕組みについて理解する。 日本銀行の役割について考察する。		3
10月	金融環境の変化	金融の自由化について理解する。 金融における自己責任原則について考察する。	発問・プリント記述だけでなく 授業態度などで総合的に評 価。	3
	中間考査前総復習	流れがつかみにくい箇所を丁寧に復習する。		1
	中間考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1
	中間考査後のまとめ	誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1
	産業を支える中小企業 情報化の進展とサービス産業	中小企業の地位や現代の在り方について理解する。 サービス産業の発展について理解する。		3
11月	公害・環境問題 消費者問題	公害問題の推移と現代の環境問題について理解する。 消費者問題と消費者政策について考察する。	発問・プリント記述だけでなく 授業態度などで総合的に評 価。	2
	労働者の権利と労働組合の役割 労働市場の変化と労働問題	労働三法や労働組合について理解する。 今日の労働問題について考察する。		2
	社会保障制度のあゆみ 社会保障制度の課題	世界と日本の社会保障制度のあゆみについて理解する。 社会保障制度の概要と課題について理解する。		2
	戦後の国際経済	第二次世界大戦後の国際経済について理解する。 ※貿易や為替相場についても学習する。		3
12月	期末考査前総復習	流れがつかみにくい箇所を丁寧に復習する。		1
	期末考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1
	期末考査後のまとめ	誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1

1 月	現代政治・経済の諸課題	これまで学習してきた公民科の内容を踏まえながら、現代日本の諸課題や国際社会の諸課題の中から探究するテーマを選択する。	発問・プリント記述だけでなく授業態度などで総合的に評価。	1	
	現代日本の諸課題 国際社会の諸課題	日本や世界の諸課題の解決に向けて私たちができることは何かを考察し、レポート等にまとめる。		4	
3 学 期	2 月	学年末考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1
3 月					
				70	

教科 地理歴史

科目 地理A

対象 4年 A組 ~ 年 組

教科担当者名 4年 A組 年 組 印

使用教科書 高校生の地理A(帝国書院)・地歴高等地図(帝国書院)

教科担当者名 年 組 年 組 印

使用教材 補助プリント・教材DVD等

教科担当者名 年 組 年 組 印

学期	月	指導内容	科目 地理A の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数
1 学期	4 月	地理Aオリエンテーション	1年間の授業のコンセプトを説明する。		1
		旅を身近にする地図ー地球儀と地図ー	地球儀の見方や使い方、読み取れる情報等を理解する。 様々な図法とその利用方法を考察する。 地形図や地図記号を用いながら中学校段階の復習をする。	発問・プリント記述だけでなく 授業態度などで総合的に評価。	3
	5 月	ほかの国に入るといことは一国家ー 日本の領域と領土問題	国家の3要素や領域の考え方について理解する。 日本の領域と領土問題について考察する。	発問・プリント記述だけでなく 授業態度などで総合的に評価。	3
		日本の地形 日本の気候	日本の地形における特徴を地図等から考察する。 日本の気候の特色を考察する。		3
		中間考査前総復習	流れがつかみにくい箇所を丁寧に復習する。		1
		中間考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1
		中間考査後のまとめ	誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1
	6 月	躍動する地形 川がつくる地形	造山帯やプレートテクトニクスについて理解する。 沖積平野の構造について理解する。	発問・プリント記述だけでなく 授業態度などで総合的に評価。	3
		海岸でみられる地形 水河地形・カルスト地形	砂浜海岸と岩石海岸の構造について理解する。 水河の形成過程やカルスト地形について理解する。		3
		地域による気候の違い 熱帯の気候と人々の生活	ケッペンの気候区分を理解する。 熱帯地域の特徴を多面的に考察する。		4
		乾燥帯の気候と人々の生活 温帯の気候と人々の生活 亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活	乾燥帯地域の特徴を多面的に考察する。 温帯地域の特徴を多面的に考察する。 亜寒帯・寒帯地域の特徴を多面的に考察する。		4
		宗教・言語と人々の生活 生活・文化のグローバル化	宗教と生活の結び付きについて考察する。 生活や文化のグローバル化について理解する。		2
	7 月	期末考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1
		期末考査後のまとめ	誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1

--	--	--	--	--

2 学 期	9 月	世界の諸地域の生活・文化－東アジア	東アジア諸国における自然・文化・歴史・社会(産業・農業・工業等含む)・生活を理解し、相違点や課題を見出したり日本との比較をしたりしながら考察を深める。	発問・プリント記述だけでなく授業態度などで総合的に評価。	3
		世界の諸地域の生活・文化－東南アジア	東南アジア諸国における、自然・文化・歴史・社会(産業・農業・工業等含む)・生活を理解し、相違点や課題を見出したり日本との比較をしたりしながら考察を深める。		3
		世界の諸地域の生活・文化－南アジア	南アジア諸国における自然・文化・歴史・社会(産業・農業・工業等含む)・生活を理解し、相違点や課題を見出したり日本との比較をしたりしながら考察を深める。		3
		世界の諸地域の生活・文化－中央アジア・西アジア・北アフリカ	中央アジア・西アジア・北アフリカ諸国における、自然・文化・歴史・社会(産業・農業・工業等含む)・生活を理解し、相違点や課題を見出したり日本との比較をしたりしながら考察を深める。		3
	1 0 月	世界の諸地域の生活・文化－サハラ以南のアフリカ	サハラ以南のアフリカ諸国における、自然・文化・歴史・社会(産業・農業・工業等含む)・生活を理解し、相違点や課題を見出したり日本との比較をしたりしながら考察を深める。	発問・プリント記述だけでなく授業態度などで総合的に評価。	2
		中間考査前総復習	流れがつかみにくい箇所を丁寧に復習する。		1
		中間考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1
		中間考査後のまとめ	誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1
		世界の諸地域の生活・文化－ヨーロッパ	ヨーロッパ諸国における、自然・文化・歴史・社会(産業・農業・工業等含む)・生活を理解し、相違点や課題を見出したり日本との比較をしたりしながら考察を深める。		3
	1 1 月	世界の諸地域の生活・文化－ロシア	ロシアにおける、自然・文化・歴史・社会(産業・農業・工業等含む)・生活を理解し、相違点や課題を見出したり日本との比較をしたりしながら考察を深める。	発問・プリント記述だけでなく授業態度などで総合的に評価。	3
		世界の諸地域の生活・文化－アメリカ合衆国	アメリカ合衆国における自然・文化・歴史・社会(産業・農業・工業等含む)・生活を理解し、相違点や課題を見出したり日本との比較をしたりしながら考察を深める。		2
		世界の諸地域の生活・文化－ラテンアメリカ	ラテンアメリカ諸国における自然・文化・歴史・社会(産業・農業・工業等含む)・生活を理解し、相違点や課題を見出したり日本との比較をしたりしながら考察を深める。		2
		世界の諸地域の生活・文化－オセアニア	オセアニア諸国における自然・文化・歴史・社会(産業・農業・工業等含む)・生活を理解し、相違点や課題を見出したり日本との比較をしたりしながら考察を深める。		2
		GISを用いた地図表現	GISやGNSSの仕組みや利用方法を理解する。 GISを実際に活用してみる。		1
	1 2 月	期末考査前総復習	流れがつかみにくい箇所を丁寧に復習する。		1
		期末考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1
期末考査後のまとめ		誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1	

1 月	地球規模で広がる課題	これまで学習してきた世界の諸地域の内容を踏まえながら、世界の人口問題、食料問題、都市・住居問題、資源・エネルギー問題、環境問題等を改めて確認する。	発問・プリント記述だけでなく授業態度などで総合的に評価。	1	
	地球的課題の解決に向けて	SDGsの観点も踏まえながら、地球的課題の解決に向けて私たちができることは何かを考察し、レポート等にまとめる。		4	
3 学 期	2 月	学年末考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1
3 月					
				70	

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科：数学 科目：数学 I 単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年

使用教科書：（ 高校数学 I （実教出版） ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、2次関数、三角比、集合と論証、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表し、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・式の見方を豊かにするとともに、整式の加法・減法・乗法、および因数分解について理解を深め、公式などを利用して式の展開や因数分解を能率よく計算できるようにする。	1 章 数と式 1 節 整式 1. 文字を含んだ式のきまり 2. 整式 3. 整式の加法・減法 4. 整式の乗法 5. 乗法公式による展開 6. 因数分解	【知技】 ・単項式と多項式について理解できる。 ・乗法公式や因数分解の公式の理解を深めることができる。 ・式の展開や因数分解を、公式を利用して処理することができる。 【思判表】 ・同類項をまとめることや、かっこを外すことを利用して、整式の加法・減法を考察できる。 ・特定の文字に着目したり、式を1つの文字で置き換えたりして、式を多面的に捉えることができる。 ・式の展開と因数分解の相互の関係がわかる。 【主】 ・ $\sqrt{\quad}$ を含む式の計算に関心をもち、いろいろな計算に積極的に取り組もうとしている。 ・数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに、数を拡張していく過程に関心をもち、調べようとしている。	○	○	○	15
	定期考査						1
	・数を実数まで拡張することの意義を理解し、実数の概念や平方根を含む計算の基本的な考え方について理解する。 ・分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを理解する。	2 節 実数 1. 平方根とその計算 2. 実数	【知技】 ・数を実数まで拡張することの意義を理解している。 ・ $\sqrt{\quad}$ を含む式の四則計算ができる。 ・分母の有理化ができる。 ・いろいろな数を、自然数、整数、有理数、無理数で分類することができる。 【思判表】 ・分数が、有限小数や循環小数で表される仕組みを考察することができる。 ・分母を有理化する意義がわかる。 ・循環小数を分数で表すことを考察できる。 ・数を拡張してきた過程や数の四則計算の可能性について考察できる。 【主】 ・ $\sqrt{\quad}$ を含む式の計算に関心をもち、いろいろな計算に積極的に取り組もうとしている。 ・数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに、数を拡張していく過程に関心をもち、調べようとしている。	○	○	○	21
定期考査						1	

	<ul style="list-style-type: none"> 不等式の解の意味・不等式の性質について理解し、1次不等式が解けるようにする。 	3節 方程式と不等式 1. 1次方程式 2. 不等式 3. 不等式の性質 4. 1次不等式 5. 連立不等式 6. 不等式の応用	【知技】 ・不等式の解の意味や不等式の性質が理解できる。 ・1次不等式や連立不等式を解くことができる。 【思判表】 ・不等号の性質を、数直線を用いて考察できる。 ・日常の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用することができる。 【主】 ・数量関係を不等式で表すことのよさが分かる。 ・1次方程式の解き方と関連づけて1次不等式を考えようとしている。 ・具体的な事象の考察に1次不等式を活用しようとしている。	○	○	○	16	
2 学 期	定期考査						1	
	<ul style="list-style-type: none"> 集合に関する基本的な概念を理解する。 命題に関する基本的な概念を理解するとともに、基本的な命題の証明ができるようにする。 	4章 集合と論証 1節 集合と論証 1. 集合と要素 2. 命題 3. いろいろな証明法	【知技】 ・集合に関する基本的な概念を理解できる。 ・2つの集合の和集合・共通部分を求めることができる。 ・命題に関する基本的な概念を理解し、簡単な命題の真偽を調べることができる。 ・必要条件、十分条件、必要十分条件について理解できる。 ・命題の逆や対偶をつくることできる。 【思判表】 ・集合と命題の関係を考察できる。 ・対偶などを利用して、簡単な命題を証明することができる。 【主】 ・具体的な事象を、集合を用いて表そうとしている。 ・いろいろな文やことがらについて、命題といえるかどうかを調べようとしている。 ・身の回りの話題から、命題を考察して、必要条件、十分条件、必要十分条件を考えようとしている。 いろいろな命題について、ねばり強く証明しようしたり、証明の過程をふり返って考えようしたりしている。	○	○	○	22	
	定期考査						1	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 統計の基本的な考えを理解するとともに、データの散らばりを数値で表してデータの傾向を把握したり、散布図や相関係数を用いて2つのデータの相関を把握したりできるようにする。 	5章 データの分析 1節 データの分析 1. 統計とグラフ 2. 度数分布表とヒストグラム 3. 代表値 4. データの散らばり 5. 外れ値 6. 相関関係 7. 仮説検定の考え	【知技】 ・与えられたデータを、指定されたグラフで表すことができる。 ・代表値、四分位範囲、分散、標準偏差などの意味や用い方を理解しており、またそれらを適切に求めることができる。 ・具体的な事象を通して、仮説検定の考え方を理解できる。 【思判表】 ・統計グラフから、どのようなことがわかるか考察できる。 ・データの散らばり具合を数値化する方法を考察できる。 ・具体的なデータを元に、表を活用するなどして、相関係数を求める方法を考察できる。 ・仮説検定の考え方をを用いて、身の回りの事象を批判的に考察できる。 【主】 ・身の回りのいろいろな統計グラフから、データの特徴を考えようとしている。 ・身の回りのいろいろなデータを集め、適切なグラフで表したり、代表値や散らばりを調べたりして、データを分析しようとしている。 ・身の回りの現象で、正の相関関係があるものと負の相関関係があるものについて、調べようとしている。	○	○	○	26	
	定期考査						1	
							合計	105

※3 1単位35時間になるように作成してください→

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科：数学 科目：数学 I 単位数：3 単位

対象学年組：第 2 学年

使用教科書：（ 高校数学 I （実教出版） ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、2次関数、三角比、集合と論証、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
・関数の概念について理解し、2次関数のグラフがかけられるようにする。	2章 2次関数 1節 関数とグラフ 1. 1次関数とそのグラフ 2. 2次関数とそのグラフ	【知技】 ・2次関数のグラフの特徴を理解できる。 ・2次関数の式から、そのグラフをかくことができる。 ・ $y=ax^2+bx+c$ の式を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形（平方完成）することができる。 【思判表】 ・ $y=ax^2+bx+c$ の式を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形（平方完成）したうえで、そのグラフをかくことができる。 ・2次関数の式とグラフとの関係について、平行移動の考えを用いるなどして多面的に考察できる。 ・コンピュータなどを使って、いろいろな2次関数のグラフをかき、その特徴を調べることができる。 【主】 ・身の回りの現象で、関数の関係になっているものを調べようとしている。 ・2次関数のグラフについて、中学校で学んだ1次関数のグラフをふり返って考えようとしている。	○	○	○	15
定期考査						1
・2次関数の値の変化についてグラフを用いて考察し、その最大値や最小値を求められるようにする。 ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解するとともに、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	2節 2次関数の値の変化 1. 2次関数の最大値・最小値 2. 2次関数のグラフと2次方程式 3. 2次関数のグラフと2次不等式	【知技】 ・2次関数の最大値・最小値が理解できる。 ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解できる。 ・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解できる。 【思判表】 ・定義域に制限がある2次関数の最大値・最小値について考察できる。 ・日常の事象について、2次関数の最大値・最小値を利用して考察できる。 ・2次不等式を解く際に、簡単に因数分解できない2次式について、2次方程式の解の公式を利用して考察できる。 【主】 ・具体的な事象の考察に2次関数の最大・最小を活用しようとしている。 ・1次関数のグラフと1次方程式との関係をふり返って2次関数のグラフと2次方程式との関係を考えようとしている。 ・ $D=b^2-4ac$ の符号を用いて、2次関数のグラフ・2次方程式・2次不等式の関係をふり返ってまとめようとしている。	○	○	○	21
定期考査						1

2 学 期	<p>・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解するとともに、鋭角の三角比を利用して2地点の標高差や水平距離を求められるようにする。</p>	<p>3章 三角比 1節 三角比 1. 三角形 2. 三角比 3. 三角比の利用 4. 三角比の相互関係</p>	<p>【知技】 ・サイン、コサイン、タンジェントの意味を理解できる。 ・直角三角形について、三角比の値を求めることができる。 ・三角比の相互関係について理解できる。 【思判表】 ・直角三角形において、2辺の長さが与えられた場合について、三平方の定理を利用することで残りの1辺の長さが得られ、それによって三角比の値を求めることができることを考察できる。 ・日常の事象について、三角比を利用して高さや距離が求められることを考察できる。 ・三角比の相互関係を利用して、1つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。 【主】 ・直角三角形において、三角形の大きさにかかわらず、角の大きさだけで三角比の値が決まることの良さがわかる。 ・校舎の高さや、2地点の標高差・水平距離などを、三角比を用いて調べようとしている。</p>	○	○	○	16
	定期考査						1
	<p>・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解するとともに、正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求められるようにする。 ・三角比を用いて三角形などの面積を求めたり、空間図形の考察に活用したりできるようにする。</p>	<p>2節 三角比の応用 1. 三角比の拡張 2. 三角形の面積 3. 正弦定理 4. 余弦定理 5. 正弦定理と余弦定理の利用</p>	<p>【知技】 ・三角比を鈍角まで拡張することの意義を理解できる。 ・鈍角の三角比を理解できる。 ・面積の公式を用いて三角形の面積を求めることができる。 ・正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 【思判表】 ・座標や鋭角の三角比を用いて、鈍角の三角比の値を求められることを考察できる。 ・鋭角の三角比と同様に、鈍角の三角比においても、三角比の相互関係を利用して、1つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。 ・正弦定理や余弦定理を導く過程を考察できる。 ・余弦定理と三平方の定理との関係を考察できる。 ・日常の事象について、正弦定理や余弦定理を利用して高さや距離が求められることを考察できる。 【主】 ・三角形の面積$=1/2 \times$底辺$\times$高さ をふり返りながら、面積の公式を考えようとしている。 ・いろいろな図形について、正弦定理や余弦定理を用いて考えようとしている。 ・正弦定理や余弦定理を利用することで、実測が難しい身の回りの距離などを求めようとしている。</p>	○	○	○	22
定期考査						1	
3 学 期	<p>・本文で学んだ内容を、生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題に取り組む。</p>	<p>課題学習 1. 黄金比と$\sqrt{\quad}$の計算 2. 売り上げ金額の最大値を求めてみよう 3. 角度を変えて斜面を滑ろう 4. 何票とると当選？ 5. カード集めの問題</p>	<p>【知技】 ・各章で学んだ知識・理解を元に、計算などを適切に処理できる。 ・課題で取り組むことがらを理解できる。 【思判表】 ・各章で学んだ内容を活用し、課題を考察できる。 ・課題について自分の考えを表現したり、他者の考えを聞いて判断したりできる。 【主】 ・自ら課題に取り組み、各章で学んだことをふり返りながら考えようとしている。</p>	○	○	○	26
	定期考査						1
							合計
※3 1単位35時間になるように作成してください→							105

教科 数学

科目 数学A

対象 3年 A組 ~ 年 組

教科担当者名 3年 A組 年 組 印

使用教科書 高校数学A 新訂版 (実教出版)

教科担当者名 年 組 年 組 印

使用教材 プリント

教科担当者名 年 組 年 組 印

学期	月	指導内容	科目 数学A の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数
1 学期	4 月	集合と要素 共通部分と和集合 空集合 集合の要素と個数	部分集合、全体集合、補集合の概念を理解する。 共通部分と和集合を、ベン図を用いて理解できるようにする。 空集合の概念を理解する。 和集合や補集合などの要素の個数を求めることができるようにする	集合について関心をもち、進んで学ぼうとする。及び集合の要素の個数の関係を用いて、具体的な事象を考察し、共通部分と和集合の違いを理解し各々に即した処理ができる。 空集合について処理ができる。 集合の要素の個数について、 $n(A \cup B) = n(A) + n(B) - n(A \cap B)$ などの関係式を理解し、具体的な	6
	5 月	和の法則 積の法則 順列 階乗	和の法則について、理解できるようにする。 積の法則について、樹形図などを利用しながら理解できるようにする 順列の意味を理解し、順列の数を求めることができるようにする。 階乗の意味を理解し、計算ができるようにする。	和の法則を用いて、場合の数を求めることができる。 積の法則を用いて、場合の数を求めることができる。 順列を用いた場合の数を求めることができる。 階乗の計算を正しく行うことができる。	12
	6 月	条件がついた順列 円順列 重複順列	条件がついたときの順列の意味を理解し具体的な例で答を求めることができるようにする。 円順列の意味を理解し具体的な例で答を求めることができるようにする。 重複順列の意味を理解し具体的な例で答を求めることができるようにする。	条件がついた場合の意味を考え、具体的な判断により答を導くことができる。 円順列の公式を用いているような場合の順列の答を求めることができる。 重複順列の公式を用いているような場合の順列の答を求めることができる。	12
	7 月	復習	1学期中間考査後から1学期期末考査後までに学習した、条件がついたときの順列、円順列、重複順列の練習問題を行う。	条件がついたときの順列、円順列、重複順列の練習問題を行うことにより知識の定着を図る。	6

				1学期 計36時間
--	--	--	--	--------------

2 学 期	9 月	<p>順列と組合せの違い</p> <p>組合せ計算</p> <p>条件がついた組合せ</p> <p>特定のものを含む組合せ</p> <p>組合せによる図形への応用</p>	<p>順列と場合の数の違いについて理解を深める。</p> <p>組合せの意味を理解し、組合せの数を求めることができるようになる。</p> <p>いろいろな場合の数の計算に、組合せの考えを利用できるようにする。</p> <p>特定のものを含む場合についての組合せの考えを利用できるようにする。</p> <p>図形が関係している場合の組合せの意味を理解し、答を求めることができるようになる。</p>	<p>順列と場合の数の違いを認識しそれぞれに応じた使い分けを図ることができる。</p> <p>組合せの数に関心を持ち、具体的な事象の考察に、組合せの考えを利用しようとする。</p> <p>組合せの考え方を理解し基本的な考え方を身につけている。</p> <p>特定のものを含む場合の組合せの考え方を理解し基本的な考え方を身につけている。</p> <p>図形を含む場合の組合せの考え方を理解し基本的な考え方を身につけている。</p>	8
	10 月	<p>組合せ計算の工夫</p> <p>試行と事象</p> <p>確率の求め方</p>	<p>$nCr = nCn-r$が理解できるようにする。</p> <p>試行と事象の意味を理解できるようにする。</p> <p>確率の基本的な考え方を理解できるようにする。</p>	<p>計算処理が簡単になることを身につけている。</p> <p>試行や事象についての概念を身につけられている。</p> <p>確率の基本的な法則を考察するのに集合の考えを利用しようとしている。</p>	13
	11 月	<p>組合せを用いた確率</p> <p>玉を取り出す確率</p> <p>排反事象の確率</p> <p>余事象を利用する確率</p>	<p>組合せを利用して事象の確率を求めることができるようになる。</p> <p>玉を取り出す場合の確率を求めることができる。</p> <p>排反事象の確率が求められるようになる。</p> <p>・余事象を利用して確率が求められるようになる。</p>	<p>順列や組合せを用いていろいろな事象の確率を求めることができる。</p> <p>組合せを用いて玉を取り出す事象の確率を考察できる。</p> <p>集合の考えを用いて、和事象、排反事象および余事象の確率を求めることができる。</p> <p>全体から条件に合わない場合の確率を引いたものが余事象に該当することを考察できる。</p>	13
	12 月	<p>復習</p>	<p>2学期中間考査後から2学期期末考査後までに学習した、組合せを利用した確率、玉を取り出す場合の確率、排反事象の確率、余事象の確率の練習問題を行う。</p>	<p>組合せを利用した確率、玉を取り出す場合の確率、排反事象の確率、余事象の確率の練習問題を行い知識の定着を図る。</p>	8
	2学期 計42時間				

1 月	和事象の確率	和事象の確率が求められるようにする。	和事象の意味を考察できる。	8
	独立な試行と確率	独立な試行の意味を理解し、その確率が求められるようにする。	独立な試行の確率に関心を持ち、調べようとする。	
	反復試行で用いるための計算練習	反復試行で用いる公式にでてくる計算練習をできるようにする。	分数の累乗計算を理解している。	
	反復試行の確率	反復試行の意味を理解し、その確率が求められるようにする。	反復試行の確率の意味を理解している。	
3 学 期 2 月	倍数と約数	倍数と約数について理解し、倍数と約数を求められるようにする。	整数の性質に関心を持ち、その性質を調べようとする。	11
	倍数の見分け方	整数のいろいろな性質に繋がる「倍数の見分け方」ができるようになる。	倍数の見分け方に関心を持ち、その性質を理解している。	
	素数と素因数分解	素数および素因数分解について理解し、素数かどうかの判定や素因数分解ができるようにする。	素因数分解の意味を理解している。	
3 月	復習	学年末考査までに学習した、倍数と約数、倍数の見分け方、素数と素因数分解の練習問題を行う。	倍数と約数、倍数の見分け方、素数と素因数分解の練習問題を行うことにより知識の定着を図る。	8
				3学期 計27時間

教科 数学

科目 数学A

対象 4年 A組 ~ 年 組

教科担当者名 4年 A組 年 組 印

使用教科書 高校数学A 新訂版 (実教出版)

教科担当者名 年 組 年 組 印

教科担当者名 年 組 年 組 印

使用教材

学期	月	指導内容	科目 数学A の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数
1 学期	4 月	公倍数と最小公倍数	公倍数や最小公倍数の意味について理解する。	公倍数や最小公倍数を求められるようにする。	5
		公約数と最大公約数	公約数や最大公約数の意味について理解する。	公約数や最大公約数を求められるようにする。	
		2つの整数と最小公倍数、最大公約	2つの整数について最小公倍数や最大公約数について求められるようにする。	最小公倍数や最大公約数について理解できているか。	
		ユークリッドの互除法	ユークリッドの互除法について理解をする。	比較的大きな整数同士の最大公約数を求める方法ができるようにする。	
	5 月	不定方程式	基本的な2元1次不定方程式を解くことができるようにする。	不定方程式とその解について理解し、不定方程式を解くための基本的な知識を身につけていく。	9
		2進法の仕組みについて	2進法のしくみについて理解できるようにする。	2進数の基本的な性質について数学的概念を身につけて、計算力を身につけている。	
		2進法から10進法への変換	2進法から10進法へ直す方法について理解できるようにする。	2進数と10進数の基本的な性質について数学的概念を身につけて、計算力を身につけている。	
		10進法から2進法への変換	10進法から2進法へ直す方法について理解できるようにする。	10進数と2進数の基本的な性質の互換性について、計算力を身につけている。	
		2進法の足し算	2進法の数同士による簡単な足し算を理解する。	2進数同士の基本的な足し算について、計算力を身につけている。	
	6 月	分数から小数への変換	分数から小数への直し方を理解できるようにする。	・整数の性質を利用して、分数を小数で表すことができる。	11
		有限小数	小数で表しきれぬ数について理解できるようにする。	有限小数の概念を数学的に判断できる。	
		循環小数から分数への変換	小数で表しきれぬ数を循環小数という概念で、新たな記号を用いて表しそれを分数に直すことを理解する。	循環小数の意味について理解し、分数への数的計算力を身につけている。	
三角形の角		三角形の性質とそれに付随する角度の性質について理解する。	三角形の基本的な性質について数学的概念を身につけている。		
7 月	三角形と線分の比	線分の比を求めることができるようにする。	線分の基本的な性質について数学的概念を身につけて、計算力を身につけている。	2	
	中点連結定理	中点連結定理を理解する。	中点が線分と比例することを理解し、比例式を用いた考え方が出来る。		
	復習	問題の学習内容を確認し、定着を図る。	・出席、授業への取り組み、定期考査、提出物を総合的に判断し、評価。		

				1学期 計27時間
--	--	--	--	--------------

2 学 期	9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・円周角 	<ul style="list-style-type: none"> ・円周角の定理について理解できるようにする。 ・接線と弦のつくる角を理解し、具体的な問題を解くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・円周角の定理を用いて、図形の性質を論理的に処理することができる。 	9
	1 0 月	<ul style="list-style-type: none"> 2つの円 円と比例 	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの円がなす位置関係により①外側②外接③2交点をもつ④内接⑤内側といった5つの状態を把握することにより、2つの円の距離を調べることができる。 ・2直線と円によってできる線分の長さの関係を理解し、具体的な問題を解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの円の位置関係の性質を考察することができる。 ・方べきの定理について理解している。 	10
	1 1 月	<ul style="list-style-type: none"> 円と四角形 接弦定理 	<ul style="list-style-type: none"> ・円に内接する四角形の性質を理解し、具体的な問題を解決することができる。 円に接する接線と弦とのなす角が、内部にできる円周角と等しいことを理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接するための条件を用いて、図形の性質を論理的に処理することができる。 円と接線とのあいだの角と円周角を見極める数的判断について処理することができる。 	11
	1 2 月	<ul style="list-style-type: none"> 問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・章末問題の学習内容を確認し、定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席、授業への取り組み、定期考査、提出物を総合的に判断し、評価。 	3
					2学期 計33時間

3 学 期	1 月	<p>空間における直線と平面</p> <p>多面体</p>	<p>平面の決定, 2つの平面の位置関係, 直線と平面の位置関係, 2つの直線の位置関係について理解することができる。</p> <p>各々の多面体を模型や折り紙等で作成することにより, 多面体や正多面体の形状や性質について理解することができる。</p>	<p>空間における直線と平面の位置関係について理解している。</p> <p>立方体や直方体などについて, 直線と平面の位置関係などを求めることができる。 いろいろな正多面体について, 多面体の性質から頂点の数などを求めることができる。</p>	8
	2 月	<p>問題演習</p>	<p>・章末問題の学習内容を確認し, 定着を図る。</p>	<p>・出席、授業への取り組み、定期考査、提出物を総合的に判断し、評価。</p>	2
	3 月				3学期 計10時間

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～

使用教科書：（東京書籍 科学と人間生活）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、身の周りの科学現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	科学現象に主体的に関わり、探究しようとする態度と、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元「光の性質とその利用」 【知識及び技能】 ○光の反射、屈折、回折、干渉、偏光について理解する。 ○電磁波の基本的な性質と危険性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○光が波の性質をもつことから、身の周りの現象を捉える。 ○身の周り機器で電磁波がどのように利用されているか見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 ○光が波の性質を持つことや光の法則性と日常生活を関連付ける。 ○電磁波を効率的かつ安全に扱う方法について関心を持ち実施する。	○指導事項 1 光の進み方と見え方 2 光の波としての性質 3 さまざまなスペクトル 4 光の三原色と色 5 電磁波の利用 ○教材 教科書、補助プリント ○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ 等	【知識・技能】 ○光の反射、屈折、回折、干渉、偏光について理解している。 ○電磁波の基本的な性質と危険性について理解している。 【思考・判断・表現】 ○光が波の性質をもつことから、身の周りの現象を捉えることができる。 ○身の周り機器で電磁波がどのように利用されているか見出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○光が波の性質を持つことや光の法則性と日常生活を関連付けている。 ○電磁波を効率的かつ安全に扱う方法について関心を持ち、実施しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	単元「熱の性質」 【知識及び技能】 ○原子や分子の熱運動と温度の関係について理解する。 ○熱容量、比熱、熱量の保存について理解する。 ○力学的エネルギーから熱エネルギー変換を理解する。 ○化学エネルギーや電気エネルギーが熱エネルギーに変換されることを定性的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○熱平衡について理解し、熱量保存の法則を定量的に考えられる。 ○身の周りで熱の伝わりがどのように利用されているか見出せる。 ○仕事か熱エネルギーに変換されることを定量的に表現する。 ○身の周りの生活で見られる消費電力や熱効率について求める。 【学びに向かう力、人間性等】 ○熱の移動について日常生活と関連付ける。 ○熱容量の知識が日常生活に活用されていることに関心を持つ。 ○エネルギーが形を変えて保存されていることに関心を持ち、現代科学とのつながりを見出す。	○指導事項 1 原子や分子の熱運動 2 熱容量と比熱 3 熱の伝わり方 4 力学的エネルギーと熱エネルギー ギー 5 エネルギーの変換 6 エネルギーの有効利用 ○教材 教科書、補助プリント ○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ 等	【知識・技能】 ○原子や分子の熱運動と温度の関係について理解している。 ○熱容量、比熱、熱量の保存について理解している。 ○力学的エネルギーから熱エネルギー変換を理解している。 ○化学エネルギーや電気エネルギーが熱エネルギーに変換されることを定性的に理解している。 【思考・判断・表現】 ○熱平衡について理解し、熱量保存の法則を定量的に考えることができる。 ○身の周りで熱の伝わりがどのように利用されているか見出すことができる。 ○仕事か熱エネルギーに変換されることを定量的に表現している。 ○身の周りの生活で見られる消費電力や熱効率について求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○熱の移動について日常生活と関連付けている。 ○熱容量の知識が日常生活に活用されていることに関心を持つようとしている。 ○エネルギーが形を変えて保存されていることに関心を持ち、現代科学とのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	

<p>単元「物質の科学～材料～」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○金属の一般的な性質や金属結合について理解する。 ○プラスチックの構成粒子である原子や共有結合について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○金属の性質の違いから、用途や利用方法について判断する。 ○プラスチックの性質の違いや化学的な構造上の特徴から、用途の違いがあることを考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プラスチック、金属の再利用について、その方法と必要性を探究する。 	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 金属の性質 2 プラスチックの性質 <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ</p> <p>等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○金属の一般的な性質や金属結合について理解している。 ○プラスチックの構成粒子である原子や、共有結合について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○金属の性質の違いから、用途や利用方法について判断できる。 ○プラスチックの性質の違いや化学的な構造上の特徴から、用途の違いがあることを考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プラスチック、金属の再利用について、その方法と必要性を理解しようとする。 	○	○	○	6
<p>単元「物質の科学～衣料と食品～」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○植物繊維、化学繊維の種類やそれぞれの構造、性質や用途について理解する。 ○脂質、炭水化物、タンパク質の分類と構造、性質とはたらきを理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○天然繊維の化学的性質の違いや構造上の特徴から、用途の違いについて考察する。 ○食品に含まれる各栄養素の、生体内におけるはたらきについて表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身のまわりにある繊維について興味をもち、その種類や性質、衣料材料の構造と加工について理解する。 ○食品中の栄養素について意欲をもち、 	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 衣料の科学 2 食品の科学 <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ</p> <p>等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○植物繊維、化学繊維の種類やそれぞれの構造、性質や用途について理解している。 ○脂質、炭水化物、タンパク質の分類と構造、性質とはたらきを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○天然繊維の化学的性質の違いや構造上の特徴から、用途の違いについて考察することができる。 ○食品に含まれる各栄養素の、生体内におけるはたらきについて表現できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身のまわりにある繊維について興味をもち、その種類や性質、衣料材料の構造と加工について理解しようとする。 ○食品中の栄養素について意欲をもって学習する。 	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>2 学 期</p> <p>単元「太陽と地球」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○天体の動き、太陽や月の動きについて理解する。 ○潮汐について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地球と月、太陽の位置関係を踏まえて潮汐のようすを説明する。 ○太陽や月の年周運動から、暦が形成されることを思考する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○天体の動きについて学習し、太陽や月の動きと潮汐、暦との関係を理解する。 	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 太陽と月の動き 2 太陽と大気・水の関係 <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ</p> <p>等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○天体の動き、太陽や月の動きについて理解している。 ○潮汐について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地球と月、太陽の位置関係を踏まえて潮汐のようすを説明できる。 ○太陽や月の年周運動から、暦が形成されることを思考できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○天体の動きについて学習し、太陽や月の動きと潮汐、暦との関係を理解しようとする。 	○	○	○	7
<p>単元「自然景観と自然災害」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本列島と、その付近のプレートの動きを理解する。 ○日本列島の地震活動と地震の発生のしくみ、地震災害と防災について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マグマの性質や噴火の様式によって火山の形が決まることを説明する。 ○おもにプレートの活動によって地震がおこることを考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本の火山活動に関心をもち噴火や火山の形のでき方を理解する。 ○地震に関心をもち、地震の発生するしくみを理解する。 	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自然景観の成り立ち 2 自然災害と防災 <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ</p> <p>等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本列島と、その付近のプレートの動きを理解している。 ○日本列島の地震活動と地震の発生のしくみ、地震災害と防災について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マグマの性質や噴火の様式によって火山の形が決まることを説明できる。 ○おもにプレートの活動によって地震がおこることを考察できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本の火山活動に関心をもち、噴火や火山の形のでき方を理解しようとする。 ○地震に関心をもち、地震の発生するしくみを理解しようとする。 	○	○	○	8
<p>定期考査</p>			○	○		1

3 学 期	<p>単元「微生物とその利用」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりには多様な微生物が存在することを理解する。 ・微生物の利用の広がりについて理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然界のどのような場所にどのような微生物が生息しているか、どのような役割を果たしているかを考察する。 ・将来の人間生活に対する微生物の利用の可能性について考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりに生息する微生物に関心を抱き、自然界にみられるさまざまな微生物について理解する。 	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 さまざまな微生物 2 微生物のくらしへの利用 <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ</p> <p>等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身のまわりには多様な微生物が存在することを理解している。 ○微生物の利用の広がりについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然界のどのような場所にどのような微生物が生息しているか、どのような役割を果たしているかを考察することができる。 ○将来の人間生活に対する微生物の利用の可能性について考察できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身のまわりに生息する微生物に関心を抱き、自然界にみられるさまざまな微生物について理解しようとする。 	○	○	○	6
	<p>単元「ヒトの生命現象」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ヒトの視覚について理解する。 ○血糖濃度の調整と糖尿病について理解する。 ○免疫のしくみについて理解する。 <p>○DNAとタンパク質の合成のされ方について理解する。</p> <p>○DNA抽出実験を的確に行う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○錯視がおこることから、視覚の成立を考察する。 ○血糖濃度の調節のしくみと糖尿病について説明する。 ○実験結果からDNDについて考察し、分かりやすく表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常的にも使われる「ワクチン」や「アレルギー」といった語に関心をもち、科学的に理解する。 ○生体を構成するタンパク質に興味をもち、DNAの塩基配列との関係について理解する。 	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ヒトの視覚 2 血統濃度の調整 3 免疫 4 遺伝子とDNA <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ</p> <p>等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ヒトの視覚について理解している。 ○血糖濃度の調整と糖尿病について理解している。 ○免疫のしくみについて理解している。 ○DNAとタンパク質の合成のされ方について理解している。 ○DNA抽出実験を的確に行っている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○錯視がおこることから、視覚の成立を考察できる。 ○血糖濃度の調節のしくみと糖尿病について説明できる。 ○実験結果からDNDについて考察し、分かりやすく表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常的にも使われる「ワクチン」や「アレルギー」といった語に関心をもち、科学的に理解しようとする。 ○生体を構成するタンパク質に興味をもち、DNAの塩基配列との関係について理解しようとする。 	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
						合計	
						70	

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～

使用教科書：（東京書籍 新編 生物基礎）

- 教科 理科 の目標：
- 【知識及び技能】 自然の事象・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	生物の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現し、科学的に探究する力を身に付ける。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元「生物の多様性と共通性」 【知識・技能】 ○共通祖先から由来した生物は共通の特徴をもつことについて理解する。 ○細胞の構造と真核細胞、原核細胞について理解する。 【思考・判断・表現】 ○脊椎動物の特徴の比較から、生物の共通性と起源の共有には関連性があることを見いだして考察する。 ○生物の顕微鏡観察とDNAの抽出から、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○生物の多様性と共通性について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。	○指導事項 1 生物の多様性 2 生物の共通性 3 細胞の特徴 ○教材 教科書、補助プリント ○一人1 台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等	【知識・技能】 ○共通祖先から由来した生物は共通の特徴をもつことについて理解している。 ○細胞の構造と真核細胞、原核細胞について理解している。 【思考・判断・表現】 ○脊椎動物の特徴の比較から、生物の共通性と起源の共有には関連性があることを見いだして考察している。 ○生物の顕微鏡観察とDNAの抽出から、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○生物の多様性と共通性について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。	○	○	○	6
単元「生物とエネルギー」 【知識・技能】 ○ATPが代謝におけるエネルギーの授受に必ず関係し、ATPの構造と生物が利用できるエネルギーが蓄えられている結合について理解する。 ○酵素の基本的な特徴を理解する。 ○呼吸と呼吸の概要について理解する。 【思考・判断・表現】 ○生のパイナップルを使ったゼラチンと寒天の実験から、酵素の基質特異性を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○代謝について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。	○指導事項 1 生体とATP 2 酵素のはたらき 3 呼吸と光合成 ○教材 教科書、補助プリント ○一人1 台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等	【知識・技能】 ○ATPが代謝におけるエネルギーの授受に必ず関係し、ATPの構造と生物が利用できるエネルギーが蓄えられている結合について理解している。 ○酵素の基本的な特徴を理解している。 ○呼吸と呼吸の概要について理解している。 【思考・判断・表現】 ○生のパイナップルを使ったゼラチンと寒天の実験から、酵素の基質特異性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○代謝について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1

1 学期	<p>単元「遺伝情報とDNA」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○遺伝情報やゲノムについて体系的に理解する。</p> <p>○DNAの特徴について、塩基の相補性によって形成される2本鎖構造であること、塩基の配列が遺伝情報となることを理解する。</p> <p>○細胞周期の間にDNAの複製が行われ、分裂期にDNAが等しく分配され、結果としてどの細胞でも同じ遺伝情報をもつことを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○DNA模型の作製から、DNAの構造の規則性や関係性を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○DNAの構造について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。</p>	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生物と遺伝子 2 DNAの構造 3 DNAの複製と分配 <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○遺伝情報やゲノムについて体系的に理解している。</p> <p>○DNAの特徴について、塩基の相補性によって形成される2本鎖構造であること、塩基の配列が遺伝情報となることを理解している。</p> <p>○細胞周期の間にDNAの複製が行われ、分裂期にDNAが等しく分配され、結果としてどの細胞でも同じ遺伝情報をもつことを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○DNA模型の作製から、DNAの構造の規則性や関係性を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○DNAの構造について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>単元「遺伝情報とタンパク質の合成」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○タンパク質の構成単位や生体内での役割やはたらきについて理解する。</p> <p>○DNAの塩基配列からmRNAの塩基配列へ転写され、mRNAの塩基配列からtRNAを介してアミノ酸配列へと翻訳される情報の流れを理解する。</p> <p>○個体を構成する細胞は遺伝的に同一だが、細胞の機能に応じて発現している遺伝子が異なることを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○DNAの塩基配列と、それに対応するタンパク質のアミノ酸配列に関する資料から、DNAの塩基配列とアミノ酸配列の間にある関係性を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○セントラルドグマについて、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。</p>	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 タンパク質 2 タンパク質と遺伝情報 3 細胞の分化と遺伝子 <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○タンパク質の構成単位や生体内での役割やはたらきについて理解している。</p> <p>○DNAの塩基配列からmRNAの塩基配列へ転写され、mRNAの塩基配列からtRNAを介してアミノ酸配列へと翻訳される情報の流れを理解している。</p> <p>○個体を構成する細胞は遺伝的に同一だが、細胞の機能に応じて発現している遺伝子が異なることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○DNAの塩基配列と、それに対応するタンパク質のアミノ酸配列に関する資料から、DNAの塩基配列とアミノ酸配列の間にある関係性を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○セントラルドグマについて、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学期	<p>単元「ヒトの体を調節するしくみ」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○体外環境と体内環境、体液の関係について理解する。</p> <p>○神経系の構成や情報伝達のしくみについて理解する。</p> <p>○教材</p> <p>○内分泌腺や分泌されるホルモン、その作用について理解する。</p> <p>○体温の調節と関係する器官のはたらきについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○運動の前後の呼吸数や脈拍数などの体の変化から、体には体内環境の変化という情報を伝達する経路があることに気づき、考察する。</p> <p>○食事の前後における血糖濃度と、血中のインスリン濃度、グルカゴン濃度の経時的変化を示す資料から、血糖濃度の変化とインスリン、グルカゴンののはたらきとの関係に気づき考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○神経系について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。</p> <p>○内分泌系について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。</p> <p>○体内環境の調節について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。</p>	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 体内環境 2 神経系による情報伝達 3 内分泌系による情報伝達 4 血糖濃度の調節 <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○体外環境と体内環境、体液の関係について理解している。</p> <p>○神経系の構成や情報伝達のしくみについて理解している。</p> <p>○内分泌腺や分泌されるホルモン、その作用について理解している。</p> <p>○体温の調節と関係する器官のはたらきについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○運動の前後の呼吸数や脈拍数などの体の変化から、体には体内環境の変化という情報を伝達する経路があることに気づき、考察している。</p> <p>○食事の前後における血糖濃度と、血中のインスリン濃度、グルカゴン濃度の経時的変化を示す資料から、血糖濃度の変化とインスリン、グルカゴンののはたらきとの関係に気づき考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○神経系について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。</p> <p>○内分泌系について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。</p> <p>○体内環境の調節について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

年間授業計画様式例

東京都立豊島高等学校 令和5年度 理科 物理基礎 年間授業計画

教科：理科 科目：物理基礎 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組

使用教科書：（東京書籍 改訂 新編 物理基礎 ）

使用教材：（教科書、ワークシート ）

	指導内容	物理基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	速さ、速度、等速直線運動	<ul style="list-style-type: none"> ・速さと速度の違いを理解する。等速直線運動・等速直線運動のグラフについて理解する。 	<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○【知識・技能】小テスト、観察・実験等 ○【思考・判断・表現】ワークシート、観察・実験報告書等 ○【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート、実験報告書等 <p>【評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書) 	2
	合成速度、相対速度	<ul style="list-style-type: none"> ・合成速度・相対速度について理解し、求めることができる。 		2

指導内容	物理基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5月 等加速度直線運動	・加速度について理解し、求めることができる。物体が直線上を運動する場合の加速度を理解する。加速度が負の等加速度直線運動について理解する。	【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト、観察・実験等	3
落下運動	・物体が落下する際の運動の特徴および物体にはたらく力と運動の関係について理解する。	○【思考・判断・表現】ワークシート、観察・実験報告書等	3
中間考査		○【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート、実験報告書等 【評価の方法】 ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	1
考査までの振り返り	・誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1

	指導内容	物理基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	力、力のつり合い	・重力、垂直抗力、張力、弾性力について理解する。力のつり合いについて理解する。	【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト、観察・実験等	4
	力の合成・分解	・力の合成と分解について理解する。	○【思考・判断・表現】ワークシート、観察・実験報告書等	2
	運動の法則	・運動の第一法則、第二法則について理解する。	○【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート、実験報告書等 【評価の方法】 ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	2

	指導内容	物理基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	運動の法則	・運動の第二法則、第三法則について理解する。	【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト、観察・実験等	2
	期末考査		○【思考・判断・表現】ワークシート、観察・実験報告書等 ○【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート、実験報告書等	1
	学期の振り返り	誤答が多い箇所を中心に復習を行う。	【評価の方法】 ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	1

	指導内容	物理基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	物理基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	摩擦力	・摩擦力について理解する。	【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト、観察・実験等 ○【思考・判断・表現】ワークシート、観察・実験報告書等 ○【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート、実験報告書等 【評価の方法】 ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	1
	浮力	・圧力、水圧、大気圧、浮力について理解する。		1
	仕事	・物理における仕事とは何かを理解する。仕事の原理、仕事率という基本的概念から仕事を計算する方法を理解する。仕事率と速さの関係を理解する。		2
	運動エネルギー	・運動エネルギーについて、仕事と関連づけて理解する。		2
	位置エネルギー	・位置エネルギーについて、仕事と関連づけて理解する。		2

	指導内容	物理基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	力学的エネルギーの保存	<ul style="list-style-type: none"> 物体の運動エネルギーと位置エネルギーが相互に変化し、その和が一定に保たれることを理解する。 	【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト、観察・実験等 ○【思考・判断・表現】ワークシート、観察・実験報告書等 ○【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート、実験報告書等 【評価の方法】 ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	4
	中間考査			1
	考査までの振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 誤答が多い箇所を中心に復習を行う。 		1
	熱と温度	<ul style="list-style-type: none"> 熱と温度について、原子や分子の熱運動という視点から理解する。 		1

	指導内容	物理基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	熱量の保存	<ul style="list-style-type: none"> ・熱容量や比熱について理解し、求めることができる。熱の移動の仕方、熱量が保存されることを理解する。 	【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト、観察・実験等 ○【思考・判断・表現】ワークシート、観察・実験報告書等 ○【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート、実験報告書等 【評価の方法】 ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	4
	熱効率	<ul style="list-style-type: none"> ・熱と仕事の変換について理解する。 		2
	波の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・媒質、波源について理解する。縦波、横波の違いについて理解する。波の性質から、波の独立性や重ね合わせの原理、定常波を理解する。 		2
	音の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・音波の伝わり方と音の三要素を理解する。音速を求める 		2

	指導内容	物理基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	気柱	・気柱の共鳴実験から、閉管・開管について理解を深める。	【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト、観察・実験等 ○【思考・判断・表現】ワークシート、観察・実験報告書等	1
12	期末考査		○【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート、実験報告書等	1
12 月	学期の振り返り	・誤答が多い箇所を中心に復習を行う。	【評価の方法】 ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	1

	指導内容	物理基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	電流・電気抵抗	<ul style="list-style-type: none"> ・電圧や抵抗の関係についてオームの法則を理解する。合成抵抗を求め、物質の長さや断面積と抵抗率の関係を理解する。ジュールの法則を学習し、電力量や消費電力について理解する。 	<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○【知識・技能】小テスト、観察・実験等 ○【思考・判断・表現】ワークシート、観察・実験報告書等 ○【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート、実験報告書等 <p>【評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書) 	8

	指導内容	物理基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	直流と交流	<ul style="list-style-type: none"> ・磁石や電流の周りに磁場が発生すること理解する。電磁誘導や誘導起電力、誘導電流について理解する。交流と直流の違いを理解する。 		4
	交流と電磁波	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の発生の原理を理解する。変圧器の原理と送電による電気エネルギーの損失について説明できるようにする。電磁波のいろいろを理解する。 		3

指導内容	物理基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	さまざまなエネルギー ・エネルギーには様々な形があり、相互に変換できることを理解する。それぞれのエネルギーの長所・短所をまとめる。 ・原子力エネルギーを正しく理解する。		1
	学年末考査		1
	学期の振り返り ・誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1

年間授業計画様式例

東京都立豊島高等学校 令和5年度 理科 地学基礎 年間授業計画

教科：理科 科目：地学基礎 単位数：3単位

対象学年組：第4学年A組

使用教科書：（東京書籍 改訂 地学基礎 ）

使用教材：（教科書、ワークシート ）

	指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	日本の自然環境	・日本における自然環境が人間生活と深くかかわっていることを知る。	【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト、観察・実験等 ○【思考・判断・表現】ワークシート、観察・実験報告書等 ○【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート、実験報告書等 【評価の方法】 ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	5
	地球の形と大きさ	・地球の形が、厳密には球でないことを知り、エラステネスの方法により地球の大きさを測定できることについて理解する。		4

	指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	地球内部の層構造	・地球内部が地殻、マントル、外核、内核の層状の構造であることを知る。	【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト、観察・実験等	3
	変動する地球	・大陸プレートと海洋プレートの違いや、プレート分布、プレートが運動していることを理解し、プレート境界には発散する境界、収束する境界、すれ違う境界の3通りあることを知る。	○【思考・判断・表現】ワークシート、観察・実験報告書等 ○【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート、実験報告書等	4
	プレートの運動	・プレートの分布と運動及びプレート運動に伴う大地形の形成について理解すること。	【評価の方法】 ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	4
	中間考査			1
	考査までの振り返り	・誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1

	指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	火山活動と地震	<ul style="list-style-type: none"> ・プレートが発散する境界や収束する境界における火山の分布や火山活動の特徴について知る。 ・火成岩が、組織と造岩鉱物の組成に基づいて分類されることを理解する。 	【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト、観察・実験等 ○【思考・判断・表現】ワークシート、観察・実験報告書等	4
	移り変わる地球	<ul style="list-style-type: none"> ・海溝付近の地震発生の仕組みについて理解し、内陸部の活断層による地震があることについて知る。 	○【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート、実験報告書等	3
	地層の形成と地質構造	<ul style="list-style-type: none"> ・露頭の観察やモデル実験などにより、地層が形成される仕組みを理解する。 	【評価の方法】 ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	4
	地層の形成と地質構造	<ul style="list-style-type: none"> ・堆積岩の特徴について理解する。 ・褶曲、断層、不整合などの地質構造について理解する。 		3

	指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	大気と海洋	・気温の高度変化に基づいて対流圏・成層圏等、四つに区分される大気の温度構造を知る。	【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト、観察・実験等	4
	期末考査		○【思考・判断・表現】ワークシート、観察・実験報告書等 ○【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート、実験報告書等	1
	学期の振り返り	・誤答が多い箇所を中心に復習を行う。	【評価の方法】 ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	1

	指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	地球の熱収支	<ul style="list-style-type: none"> ・地球全体の太陽放射の受熱量と地球放射の放熱量が釣り合っていることを知る。 ・温室効果の原因となるガスについて知る。 	【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト、観察・実験等 ○【思考・判断・表現】ワークシート、観察・実験報告書等	4
	大気と海水の運動	<ul style="list-style-type: none"> ・大気や海水が地球規模で循環していることを知る。 	○【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート、実験報告書等	4
	地球の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化、オゾン層破壊、エルニーニョ現象などの現象について理解する。 	【評価の方法】 ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	4

	指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	古生物の変遷と地球環境	・地質時代を代表する示準化石及び示相化石をについて理解する。	【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト、観察・実験等	4
	先カンブリア時代	・生命の起源について、仮説の紹介とともに進化について学ぶ	○【思考・判断・表現】ワークシート、観察・実験報告書等	4
	古生代	・脊椎動物の起源 現代とは異なる生物群についてバージェス頁岩からの化石生物群について学ぶ	○【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート、実験報告書等 【評価の方法】 ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	4
	中間考査			1
	考査までの振り返り	・誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1

指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
中生代	・恐竜の時代、地球官許の大きな変化、恐竜の時代の終焉、隕石落下による地球環境の変化仮説について学ぶ。	【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト、観察・実験等	4
新生代	・植物・動物の変化について学ぶ。	○【思考・判断・表現】ワークシート、観察・実験報告書等	4
11月 人類の進化	・霊長類の進化、ホモサピエンスの進化について学ぶ。	○【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート、実験報告書等 【評価の方法】 ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	4

指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
宇宙における地球	・宇宙の誕生では、宇宙の始まりにビッグバンがあり、現在も宇宙の膨張が続いていることを知る。	【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト、観察・実験等	4
宇宙のすがた	・銀河系や銀河の存在について知り、銀河系の構造を理解する。	○【思考・判断・表現】ワークシート、観察・実験報告書等	4
太陽と恒星	・太陽の元素組成について知る。	○【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート、実験報告書等 【評価の方法】 ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	3
12月 期末考査			1
学期の振り返り	・誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1

指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
太陽のエネルギー	・太陽表面に見られる黒点や粒状斑、プロミネンスなどの現象について知り、太陽のエネルギー源が太陽内部で起こる核融合反応であることを理解する。	【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト、観察・実験等	3
惑星としての地球	・星間物質などから太陽系が形成されたことについて知り、地球は太陽系の惑星の一つとして形成されたことについて理解する。	○【思考・判断・表現】ワークシート、観察・実験報告書等	3
太陽系の中の地球	・地球に海が形成されたことが、生命を生み出す条件であったことを理解する。	○【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート、実験報告書等	4
1 月		【評価の方法】 ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	

	指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	学年末考査			1
	学期の振り返り	・誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1

	指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				

高等学校 令和5年度(1学年用) 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育

単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年 A組～ 組

使用教科書: (現代高等保健体育)

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、ひとりひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	意	配当 時数	
【オリエンテーション】 授業の決まりやルールを理解する。	一年間の授業の決まりや取り組み方の確認					1	
【スポーツテスト】 【知識及び技能】 ・自己の課題を解決したりするなどの楽しさや喜びを味わい、測定などの方法や行い方、協議会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツテストに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするようにする。	・握力 ・上体起こし ・反復横跳び ・長座体前屈 ・立ち幅跳び ・50m走 ・ハンドボール投げ ・20mシャトルラン	【知識・技能】 ・測定の方法や行い方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツテストに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、測定に協力しようとして、健康・安全を確保したりしている。		○	○	○	6
定期考査						0	
【ニュースポーツ】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、健康・安全を確保することができるようにする。		【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとすることなど、健康・安全を確保したりしている。		○	○	○	5
【体づくり運動】 【知識及び技能】 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話し合いに貢献しようとするなど、健康・安全を確保したりしている。		【知識】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話し合いに貢献しようとするなど、健康・安全を確保したりしている。		○	○	○	5
定期考査						0	

<p>【体育理論（運動・スポーツの文化的特徴）】 【知識及び技能】 ・スポーツの歴史、文化を学び、文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しながら他者に伝えていけるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に主体的・主体的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>・教材 ・一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○		5
<p>【バスケットボール】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>・一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	8
<p>【バレーボール】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>・一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・役割に応じたボール操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	8
<p>定期考査</p>					0
<p>【バドミントン】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>・一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したラケット操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	8
<p>【ソフトボール】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>		<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	8
<p>定期考査</p>					0

2学期

<p>【卓球】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>・一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割に応じたボール操作や安定したラケット操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。 	○	○	○	8
<p>【フットサル】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>・一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。 	○	○	○	8
<p>定期考査</p>						0
						合計
						70

高等学校 令和5年度(1学年用) 教科 保健体育 科目 保健

教科: 保健体育 科目: 保健 単位数: 1 単位

対象学年組: 第1学年 A組～組

使用教科書: (現代高等保健体育 50 大修館 保体701)

教科 保健体育 の目標:

- 【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
(1) 現代社会と健康 (7) 健康の考え方 【知識及び技能】 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること、健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	01_健康の考え方と成り立ち 02_私たちの健康のすがた 18_健康に関する意思決定・行動選択 19_健康に関する環境づくり ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート	【知識・技能】 ①我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を踏まえた国民の健康課題について、また、健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②疾病や症状の有無を重視する健康の考え方や、生活の質や生きがいを重視する健康の考え方などを例として健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて、それらを踏まえて免疫、遺伝、生活行動などの主体要因と、自然、経済、文化、保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であること、適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していること、健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ②国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 ③健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①国民の健康課題、健康の考え方と成り立ち、健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
(1) 現代社会と健康 (7) 生活習慣病などの予防と回復 【知識及び技能】 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	03_生活習慣病の予防と回復 04_がんの原因と予防 05_がんの治療と回復 06_運動と健康 07_食事と健康 08_休養・睡眠と健康 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート	(1) 現代社会と健康 (7) 生活習慣病などの予防と回復 【知識・技能】 ①がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であること、がんについては、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあること、生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ②生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①生活習慣病などの予防と回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
(1) 現代社会と健康	09_喫煙と健康	【知識・技能】				

<p>(α)喫煙、飲酒、薬物乱用と健康</p> <p>【知識及び技能】 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと、それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることについて理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>10_飲酒と健康 11_薬物乱用と健康</p> <p>・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>①喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないこと、薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。</p> <p>②喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3
<p>定期考査</p>	<p>1学期期末考査及び 答案返却・解説</p>	<p>上記 (1)現代社会と健康 (7)健康の考え方 (9)生活習慣病などの予防と回復 (α)喫煙、飲酒、薬物乱用と健康による</p>	○	○	○	2
<p>(1)現代社会と健康 (α)喫煙、飲酒、薬物乱用と健康</p> <p>【知識及び技能】 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと、それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることについて理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>09_喫煙と健康 10_飲酒と健康 11_薬物乱用と健康</p> <p>・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないこと、薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。</p> <p>②喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3
<p>(1)現代社会と健康 (α)精神疾患の予防と回復</p>	<p>12_精神疾患の特徴</p>	<p>【知識・技能】 ①精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、また社会的な</p>				

2 学 期	<p>【知識及び技能】 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>13_精神疾患の予防 14_精神疾患からの回復</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート 	<p>機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であること、うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などを適宜取り上げ、誰もが罹患しうること、若年で発症する疾患が多いこと、適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②精神疾患の予防と回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であること、心身の不調時には、不安、抑うつ、焦燥、不眠などの精神活動の変化が、通常時より強く、持続的に生じること、心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まること、人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対象ではないことなどについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ②精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①精神疾患の予防と回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3
2 学 期	<p>(1) 現代社会と健康 (4) 現代の感染症とその予防 【知識及び技能】 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること、その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることについて理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>15_現代の感染症 16_感染症の予防 17_性感染症・エイズとその予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末 ・一人1台端末 	<p>【知識・技能】 ①感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O157等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られること、感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症の原因、予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用している。 ②現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
2 学 期	<p>(2) 安全な社会生活 (7) 安全な社会づくり 【知識及び技能】 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わることで、交通事故には補償をはじめとした責任が生じることについて理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>01_事故の現状と発生要因 02_安全な社会の形成 03_交通における安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート 	<p>【知識・技能】 ①事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを旨とする安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であること、交通事故には補償をはじめとする法的責任などが生じることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ②安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。 ③交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 ④安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	1

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～ 組

使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果敢とせず、参画する、ひとりひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当 時数	
【オリエンテーション】 授業の決まりやルールを理解する。	一年間の授業の決まりや取り組み方の確認					1	
【スポーツテスト】 【知識及び技能】 ・自己の課題を解決したりするなどの楽しさや喜びを味わい、測定などの方法や行い方、協議会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツテストに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするようにする。	・握力 ・上体起こし ・反復横跳び ・長座体前屈 ・立ち幅跳び ・50m走 ・ハンドボール投げ ・20mシャトルラン	【知識・技能】 ・測定の方法や行い方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツテストに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、測定に協力しようとしたり、健康・安全を確保したりしている。		○	○	○	6
定期考査						0	
【ニュースポーツ】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、健康・安全を確保することができるようにする。		【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻勢をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。		○	○	○	5
【体づくり運動】 【知識及び技能】 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとする、健康・安全を確保したりしている。		【知識】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとする、健康・安全を確保したりしている。		○	○	○	5
定期考査						0	

<p>【体育理論（運動・スポーツの文化的特徴）】 【知識及び技能】 ・スポーツの歴史、文化を学び、文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しながら他者に伝えていけるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に主体的・主体的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>・教材 ・一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○		5
<p>【バスケットボール】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>・一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	8
<p>【バレーボール】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>・一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・役割に応じたボール操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	8
<p>定期考査</p>					0
<p>【バドミントン】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>・一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したラケット操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	8
<p>【ソフトボール】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>		<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	8
<p>定期考査</p>					0

2
学期

<p>【卓球】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>・一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割に応じたボール操作や安定したラケット操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。 	○	○	○	8
<p>【フットサル】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>・一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。 	○	○	○	8
<p>定期考査</p>						0
						合計
						70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 A組～ 組

使用教科書：（現代高等保健体育 50 大修館 保体701）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自己の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>(2) 安全な社会生活 (7) 安全な社会づくり</p> <p>【知識及び技能】 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに伴った個人の取組が必要であること、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自己の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わり、交通事故には価値をはじめとした責任が生じることについて理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自己の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>01_事故の現状と発生要因 02_安全な社会の形成 03_交通における安全 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを旨とする安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③交通事故を防止するには、自己の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であること、交通事故には価値をはじめとする法的責任などが生じることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自己や社会の課題を発見している。 ②安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。 ③交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自己や社会の取組を評価している。 ④安全な社会づくりについて、自己や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
<p>(2) 安全な社会生活 (4) 応急手当</p> <p>【知識及び技能】 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること、応急手当には、正しい手順や方法があること、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることについて理解を深める。心肺蘇生法などの応急手当を適切に行う技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自己の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>04_応急手当の意義とその基本 05_日常的な応急手当 06_心肺蘇生法 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすること、自己の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や避難も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う必要があること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることについて、実習を通して理解したことを言ったり書いたりしているとともに、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。 ②応急手当について、自己や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
定期考査	1学期期末考査 及び 答案返却・解説	上記 (2) 安全な社会生活 (7) 安全な社会づくり (1) 応急手当 による	○	○	○	2

<p>(3) 生涯を通じる健康 (7) 生涯の各段階における健康 【知識及び技能】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>01. ライフステージと健康 02. 思春期と健康 03. 性意識と性行動の選択 04. 妊娠・出産と健康 05. 避妊法と人工妊娠中絶 06. 結婚生活と健康 07. 中高年期と健康 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあること、その際、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や畏れを理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにするとともに、健康課題には年齢や生活習慣などが関わること、また、結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③中高年期を健康やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係すること、また高年齢には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ②思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ③結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ④加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
<p>(3) 生涯を通じる健康 (7) 生涯の各段階における健康 【知識及び技能】 労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理を必要とすることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>08. 働くことと健康 09. 労働災害と健康 10. 健康的な職業生活 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化すること、また、労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であること、その際、仕事のストレスによる精神疾患が含まれていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つこと、その際、ストレスに対する気付きへの援助、リラクゼーションの指導など、メンタルヘルスマタが重要視されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。 ②働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。 ③生涯を通じる健康について、自他や社会の課題の解決方法とそれを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3
<p>定期考査</p>	<p>2学期期末考査 及び 答案返却・解説</p>	<p>上記 (3) 生涯を通じる健康 (7) 生涯の各段階における健康 (7) 労働と健康 による</p>	○	○	○	2

教科 保健体育

科目 体育

対象 3年 A組 ~ 年 組

教科担当者名 3年 A組 年 組 印

使用教科書 最新高等保健体育 改訂版

教科担当者名 3年 A組 年 組 印

使用教材 各種目に応じた教具

教科担当者名 年 組 年 組 印

学期	月	指導内容	科目 体育 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数	
1 学期	4 月	スポーツテスト	毎年度始めにスポーツテストを実施することで、生徒が将来にわたって心身ともに健康で活力ある生活を営むことができる。			
			スポーツテスト①			1
			スポーツテスト②			1
			スポーツテスト③			1
	5 月	スポーツテスト	スポーツテスト④	1		
			スポーツテスト⑤	1		
			スポーツテスト⑥	1		
			球技 【バレーボール】	球技に主体的に取り組むとともに、健康・安全を確保できるようにする。また、状況に応じた安定したボール操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開できる。	【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。	3
	6 月	球技 【アルティメット】	基本技術	【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。	2	
			ゲームでの応用技術			
			球技に主体的に取り組むとともに、健康・安全を確保できるようにする。また、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開できる。			
			基本技術①	2		
7 月	体づくり運動	基本技術②				
		基本技術③	2			
		基本技術④	2			
		体づくり運動に主体的に取り組むとともに、心と体は互いに影響し変化することに気付き、体の状態に応じて体の調子を整え、健康・安全を確保することができるようにする。				
7 月	体づくり運動	体ほぐしの運動①				
		体ほぐしの運動②	【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。	2		

--	--	--	--	--

2 学 期	9 月	体育理論 運動・スポーツの文化的特徴	【スポーツの歴史、文化的特性や現代スポーツの特徴について理解できるようにする。】 ①スポーツがどのように始まり、どのようにして発展したかを説明で ②近代スポーツと国際スポーツの違いを説明できる。 ③スポーツの文化的内容について説明できる。 ④スポーツ文化に対してどのようなかわり方があるのか例をあげて説明できる。		1 1 1 1	
		1 0 月	球技 【アルティメット】	⑤オリビズムとオリビックムーブメントを説明できる。 ⑥オリビックがどのように変化してきたのかを説明できる。 球技に主体的に取り組むとともに、健康・安全を確保できるようにする。また、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開できる。	【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。	1 1
				ゲームでの応用技術① ゲームでの応用技術②		3 3
			球技 【バドミントン】	ゲームでの応用技術③ ゲームでの応用技術④ 球技に主体的に取り組むとともに、健康・安全を確保できるようにする。また、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開できる。 基本技術① 基本技術②	【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。 【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。	2 2 4 4
	1 1 月	ゲームでの応用技術① ゲームでの応用技術②	2 2			
		1 2 月	ゲームでの応用技術① ゲームでの応用技術②	2 2		

1 月	体づくり運動	<p>体づくり運動に主体的に取り組むとともに、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>体力を高める運動①</p> <p>体力を高める運動②</p> <p>体力を高める運動③</p>	【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。	<p>2</p> <p>2</p> <p>2</p>
	球技 【卓球】	<p>球技に主体的に取り組むとともに、健康・安全を確保できるようにする。また、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開できる。</p> <p>基本技術①</p> <p>基本技術②</p> <p>基本技術③</p>		<p>3</p> <p>3</p> <p>3</p>
	3 学 期	2 月	<p>ゲームでの応用技術①</p> <p>ゲームでの応用技術②</p>	【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。
3 月				

教科 保健体育

科目 体育

対象 4年 A組 ~ 年 組

教科担当者名 4年 A組 年 組 印

使用教科書 最新高等保健体育 改訂版

教科担当者名 4年 A組 年 組 印

教科担当者名 年 組 年 組 印

使用教材 各種目に応じた教具

学期	月	指導内容	科目 体育 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数	
1 学期	4 月	スポーツテスト	毎年度始めにスポーツテストを実施することで、生徒が将来にわたって心身ともに健康で活力ある生活を営むことができる。			
			スポーツテスト①			1
			スポーツテスト②			1
			スポーツテスト③			1
	5 月	スポーツテスト	スポーツテスト④	1		
			スポーツテスト⑤	1		
			スポーツテスト⑥	1		
			球技 【バレーボール】	球技に主体的に取り組むとともに、健康・安全を確保できるようにする。また、状況に応じ安定したボール操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開できる。	【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。	3
	6 月	球技 【アルティメット】	基本技術	【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。	2	
			ゲームでの応用技術	2		
			球技に主体的に取り組むとともに、健康・安全を確保できるようにする。また、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開できる。			
			基本技術①			2
7 月	体づくり運動	基本技術②				
		基本技術③			2	
		基本技術④			2	
		体づくり運動に主体的に取り組むとともに、心と体は互いに影響し変化することに気付き、体の状態に応じて体の調子を整え、健康・安全を確保することができるようにする。				
体ほぐしの運動①	2					
体ほぐしの運動②	2					
			【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。	2		

--	--	--	--	--

2 学 期	9 月	<p>体育理論 運動・スポーツの文化的特徴</p>	<p>【スポーツの歴史、文化的特性や現代スポーツの特徴について理解できるようにする。】</p> <p>①スポーツがどのように始まり、どのようにして発展したかを説明で</p> <p>②近代スポーツと国際スポーツの違いを説明できる。</p> <p>③スポーツの文化的内容について説明できる。</p> <p>④スポーツ文化に対してどのようなかわり方があるのか例をあげて説明できる。</p>		<p>1</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p>
	1 0 月	<p>球技 【アルティメット】</p>	<p>⑤オリビズムとオリビックムーブメントを説明できる。</p> <p>⑥オリビックがどのように変化してきたのかを説明できる。</p> <p>球技に主体的に取り組むとともに、健康・安全を確保できるようにする。また、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開できる。</p> <p>ゲームでの応用技術①</p> <p>ゲームでの応用技術②</p>	<p>【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。</p>	<p>1</p> <p>1</p> <p>3</p> <p>3</p>
	1 1 月	<p>球技 【バドミントン】</p>	<p>ゲームでの応用技術③</p> <p>ゲームでの応用技術④</p> <p>球技に主体的に取り組むとともに、健康・安全を確保できるようにする。また、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開できる。</p> <p>基本技術①</p> <p>基本技術②</p>	<p>【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。</p> <p>【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。</p>	<p>2</p> <p>2</p> <p>4</p> <p>4</p>
	1 2 月		<p>ゲームでの応用技術①</p> <p>ゲームでの応用技術②</p>	<p>【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。</p>	<p>2</p> <p>2</p>

1 月	体づくり運動	<p>体づくり運動に主体的に取り組むとともに、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>体力を高める運動①</p> <p>体力を高める運動②</p> <p>体力を高める運動③</p>	【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。	2	2	2
	球技 【卓球】	<p>球技に主体的に取り組むとともに、健康・安全を確保できるようにする。また、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開できる。</p> <p>基本技術①</p> <p>基本技術②</p> <p>基本技術③</p>		3	3	3
	3 学 期	2 月	ゲームでの応用技術①	【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。	2	2
3 月		ゲームでの応用技術②				

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年

使用教科書：（ All Aboard! English Communication I ）

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

1 学 期	<p>Communication1 自己紹介 【知識及び技能】 ここまで学習したことをもとに、自己紹介の仕方を理解する。ここまで学習したことをもとに、自己紹介というテーマでワークシートを作成し、ALTとコミュニケーションでできる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 効果的な自己紹介ができるように、選んだテーマに沿って自分の情報を整理して、相手が理解しやすいように伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的な自己紹介ができるように、選んだテーマに沿って自分の情報を整理して、相手が理解しやすいように伝えようとする。</p>	自己紹介							<p>【知識及び技能】 ここまで学習したことをもとに、自己紹介の仕方を理解している。ここまで学習したことをもとに、自己紹介というテーマでワークシートを作成し、ALTとコミュニケーションでできる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 効果的な自己紹介ができるように、選んだテーマに沿って自分の情報を整理して、相手が理解しやすいように伝えていく。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的な自己紹介ができるように、選んだテーマに沿って自分の情報を整理して、相手が理解しやすいように伝えようとしている。</p>					5
	定期考査													1
	<p>Lesson1 Breakfast around the World 【知識及び技能】 動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解する。また、世界の朝食について学んだ事柄や好きな食べ物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解する。世界の朝食について学んだ事柄を用いて、好きな食べ物について、考えや好み、その理由を話して伝える技能を身につける。また、過去にしたことについて動詞の過去形を用いて伝え合う技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の朝食に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな食べ物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の朝食に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな食べ物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝え合おうとする。</p>	<p>【題材内容】 世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。 [言語材料] 過去形 [言語活動] 好きな食べ物について、英語で述べるができる。</p>							<p>【知識及び技能】 動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、世界の朝食について学んだ事柄や好きな食べ物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解する。世界の朝食について学んだ事柄を用いて、好きな食べ物について、考えや好み、その理由を話して伝える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の朝食に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな食べ物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の朝食に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな食べ物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>					11
<p>Lesson 2 Australia's Cute Quokkas 【知識及び技能】 進行形（be動詞＋動詞の-ing形）を用いた文の形・意味・用法を理解する。また、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄や好きな動物について、自分の考</p>	<p>【題材内容】 オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。 [言語材料] 進行形：（be動詞＋動詞の-ing形） [言語活動]</p>							<p>【知識及び技能】 進行形（be動詞＋動詞の-ing形）を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄や好きな動物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。進行形（be動詞＋動詞の-ing形）の理解をもとに、オーストラ</p>						

<p>えや好み、その理由などを整理・理解する。進行形（be動詞＋動詞の-ing形）の理解をもとに、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄を用いて、好きな動物について、考えや好み、その理由などを話して伝え合う技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや好み、その理由などを話したり書いたりして伝え合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや好み、その理由などを話したり書いたりして伝え合おうとする。</p>	<p>好きな動物について、英語で述べることができる。</p>							<p>リアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄を用いて、好きな動物について、考えや好み、その理由などを話して伝え合う技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや好み、その理由などを話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや好み、その理由などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>				11
<p>定期考査</p>												1
<p>Lesson 3 A Train Driver in Sanriku</p> <p>【知識及び技能】 助動詞can, willを用いた文の形・意味・用法を理解する。列車運転士の職業観の紹介やある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、助動詞can, willを用いて、情報や考えを話して伝え合う技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 被災地域で働く列車運転士に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 被災地域で働く列車運転士に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合おうとする。</p>	<p>【題材内容】 被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。</p> <p>【言語材料】 助動詞：can, will</p> <p>【言語活動】 ある場所への行き方とそこでできることについて、英語で述べることができる。</p>							<p>【知識及び技能】 助動詞can, willを用いた文の形・意味・用法を理解している。列車運転士の職業観の紹介やある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、助動詞can, willを用いて、情報や考えを話して伝え合う技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 被災地域で働く列車運転士に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 被災地域で働く列車運転士に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>				12

2 学 期	<p>Communication 2 道案内</p> <p>【知識及び技能】 道案内をするにあたり、地図を見ながら説明する仕方を理解する。道案内をするにあたり、地図を見ながら説明できる技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 道案内をするにあたり、地図を見ながら、相手が理解しやすいような案内をする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 道案内をするにあたり、地図を見ながら、相手が理解しやすいような案内をしようとする。</p>	<p>道案内の場面においてよく使われる表現を用いて、英語で道案内をしたり、道順を尋ねたりする。</p>							<p>【知識及び技能】 道案内をするにあたり、地図を見ながら説明する仕方を理解している。道案内をするにあたり、地図を見ながら説明できる技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 道案内をするにあたり、地図を見ながら、相手が理解しやすいような案内をしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 道案内をするにあたり、地図を見ながら、相手が理解しやすいような案内をしようとしている。</p>	○	○	○	○	8
	定期考査													1
	<p>Let's Listen 1 デートの約束</p> <p>【知識及び技能】 相手を何かに誘う文の形・意味を理解する。相手を何かに誘う文を聞いて、その日時や場所などの要点を整理してメモを取る技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 相手を何かに誘う状況で、必要な情報を聞き取って、それを整理できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 相手を何かに誘う状況で、必要な情報を聞き取って、それを整理しようとする。</p>	<p>友達をサッカーの試合観戦に誘う場面における対話を聞き、概要を理解し、メモを完成させる。</p>							<p>【知識及び技能】 相手を何かに誘う文の形・意味を理解している。相手を何かに誘う文を聞いて、その日時や場所などの要点を整理してメモを取る技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 相手を何かに誘う状況で、必要な情報を聞き取って、それを整理できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 相手を何かに誘う状況で、必要な情報を聞き取って、それを整理しようとしている。</p>	○	○	○	○	8

<p>Lesson 4 A Miracle Mirror</p> <p>【知識及び技能】 to不定詞〈to+動詞の原形〉を用いた文の形・意味・用法を理解する。ウユニ塩原でやりたいこと、行ってみたい場所ややりたいことについて、to不定詞〈to+動詞の原形〉を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとする。</p>	<p>【題材内容】 海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。</p> <p>【言語材料】 to不定詞：〈to+動詞の原形〉</p> <p>【言語活動】 行ってみたい場所について、英語で述べることができる。</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 to不定詞〈to+動詞の原形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。ウユニ塩原でやりたいこと、行ってみたい場所ややりたいことについて、to不定詞〈to+動詞の原形〉を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ 12</p>
<p>定期考査</p>				<p>1</p>

<p>Lesson 5 Learning from the Sea</p> <p>【知識及び技能】 動名詞（動詞の-ing形）を用いた文の形・意味・用法を理解する。将来の夢や先週末に楽しんだことについて、動名詞（動詞の-ing形）を用いて、考えや気持ち、情報などを話して伝え合う技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 高校のユニークな部活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、将来の夢や先週末に楽しんだことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや気持ち、情報などを話したり書いたりして伝え合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 高校のユニークな部活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、将来の夢や先週末に楽しんだことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや気持ち、情報などを話したり書いたりして伝え合おうとする。</p>	<p>【題材内容】 高校のユニークな部活動を通して、今好きなことと将来の夢について考える。</p> <p>【言語材料】 動名詞：〈動詞の-ing形〉</p> <p>【言語活動】 将来の夢について、英語で述べることができる。</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 動名詞（動詞の-ing形）を用いた文の形・意味・用法を理解している。将来の夢や先週末に楽しんだことについて、動名詞（動詞の-ing形）を用いて、考えや気持ち、情報などを話して伝え合う技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 高校のユニークな部活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、将来の夢や先週末に楽しんだことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや気持ち、情報などを話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 高校のユニークな部活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、将来の夢や先週末に楽しんだことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや気持ち、情報などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ 12</p>
<p>Let's Listen 2 フリーマーケットで買い物</p> <p>【知識及び技能】 商品の値段や形状を説明する文の形・意味を理解する。商品の値段や形状を説明する文を聞いて、それらの要素を正しく判断できる技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 商品の値段や形状についての説明を聞く状況で、必要な情報を聞き取って、それを整理することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 商品の値段や形状についての説明を聞く状況で、必要な情報を聞き取って、それを整理しようとする。</p>	<p>フリーマーケットで買い物をする場面における対話を聞き、概要を理解し、よく使われる表現を聞き取る。</p>	<p>○</p>	<p>【知識及び技能】 商品の値段や形状を説明する文の形・意味を理解している。商品の値段や形状を説明する文を聞いて、それらの要素を正しく判断できる技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 商品の値段や形状についての説明を聞く状況で、必要な情報を聞き取って、それを整理することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 商品の値段や形状についての説明を聞く状況で、必要な情報を聞き取って、それを整理しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ 7</p>
<p>定期考査</p>				<p>1</p>

合計
105

※3 1単位35時間になるように作成してください→

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年

使用教科書：（ All Aboard! English Communication I ）

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

<p>Lesson8 A Door to a New Life</p> <p>【知識及び技能】 現在完了形 (have[has]+過去分詞) を用いた文の形・意味・用法を理解する。また、ロボットカフェについて学んだり、ロボットについて自分で調べた事柄を整理・理解する。現在完了形 (have[has]+過去分詞) の理解をもとに、ロボットカフェについて学んだり、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを提案する技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ロボットカフェに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考えて、それを提案する記事を書いたり話したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ロボットカフェに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考えて、それを提案する記事を書いたり話したりしようとする。</p>	<p>【題材内容】 ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。</p> <p>【言語材料】 現在完了形 (have[has]+過去分詞)</p> <p>【言語活動】 人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案することができる。</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 現在完了形 (have[has]+過去分詞) を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、ロボットカフェについて学んだり、ロボットについて自分で調べた事柄を整理・理解している。現在完了形 (have[has]+過去分詞) の理解をもとに、ロボットカフェについて学んだり、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを提案する技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ロボットカフェに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考えて、それを提案する記事を書いたり話したりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ロボットカフェに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考えて、それを提案する記事を書いたり話したりしようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>定期考査</p>				<p>1</p>

2 学 期	<p>Communication 3 乗り換え案内 【知識及び技能】 電車の乗り換え案内をするにあたり、路線図を見ながら説明する仕方を理解する。電車の乗り換え案内をするにあたり、路線図を見ながら説明できる技能を身につける。相手を何かに誘う文の形・意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 電車の乗り換え案内をするにあたり、路線図を見ながら、相手が理解しやすいような案内をする。 【学びに向かう力、人間性等】 電車の乗り換え案内をするにあたり、路線図を見ながら、相手が理解しやすいような案内をしようとする。</p>	<p>【言語活動】 電車の乗り換え案内の場面においてよく使われる表現を用いて、英語で尋ねたり案内したりする。</p>	○	○			<p>【知識及び技能】 電車の乗り換え案内をするにあたり、路線図を見ながら説明する仕方を理解している。電車の乗り換え案内をするにあたり、路線図を見ながら説明できる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 電車の乗り換え案内をするにあたり、路線図を見ながら、相手が理解しやすいような案内をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 電車の乗り換え案内をするにあたり、路線図を見ながら、相手が理解しやすいような案内をしようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>Lesson 9 Fighting Plastic Pollution 【知識及び技能】 「名詞を後ろから説明する分詞」が用いられた文の形・意味・用法を理解する。また、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について調べた事柄を整理・理解する。「名詞を後ろから説明する分詞」の理解をもとに、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について自分で調べた事柄を用いて、自分たちにできることを伝え合う技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 プラスチックごみによる環境汚染の問題に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 プラスチックごみによる環境汚染の問題に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合うとする。</p>	<p>【題材内容】 プラスチックごみによる環境汚染と戦うインドネシアの姉妹の活動を学習する。 【言語材料】 名詞を後ろから修飾する分詞 【言語活動】 環境を守るためにできることについて、英語で述べることができる。</p>	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】 「名詞を後ろから説明する分詞」が用いられた文の形・意味・用法を理解している。また、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について調べた事柄を整理・理解している。「名詞を後ろから説明する分詞」の理解をもとに、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について自分で調べた事柄を用いて、自分たちにできることを伝え合う技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 プラスチックごみによる環境汚染の問題に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 プラスチックごみによる環境汚染の問題に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合うとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査										1

<p>Lesson 10 Pigs from across the Sea</p> <p>【知識及び技能】 関係代名詞who, whichを用いた文の形・意味・用法を理解する。また、第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について、自分で調べた事柄を整理・理解する。関係代名詞who, whichの理解をもとに、第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について自分で調べた事柄を用いて、考えや情報などを話して伝え合う技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助などに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外の文化や社会を理解するためにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助などに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外の文化や社会を理解するためにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとする。</p>	<p>【題材内容】 第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学習する。</p> <p>【言語材料】 関係代名詞who, which</p> <p>【言語活動】 海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英語で述べることができる。</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 関係代名詞who, whichを用いた文の形・意味・用法を理解している。また、第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について、自分で調べた事柄を整理・理解している。関係代名詞who, whichの理解をもとに、第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について自分で調べた事柄を用いて、考えや情報などを話して伝え合う技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助などに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外の文化や社会を理解するためにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助などに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外の文化や社会を理解するためにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>	<p>○ ○ ○ 12</p>
<p>定期考査</p>				<p>1</p>

合計
70

※3 1単位35時間になるように作成してください→

教科 外国語

科目 英語会話

対象 3年 A組 ~ 年 組

教科担当者名 3年 A組 年 組 印

使用教科書 Select English Conversation

教科担当者名 年 組 年 組 印

使用教材 教科書・ワークシート

教科担当者名 年 組 年 組 印

学期	月	指導内容	科目 英語会話 【年間授業計画】 の具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定時数
1 学期	4月	Self-introduction	英語で自己紹介ができるようになる。 ・自然な口調で話された初対面での質問や自己紹介の表現が正しく理解できる。 ・聞かれたことに対して、素早く適切に自分のことを相手に知らせることができる。	簡単な英語で自己紹介が書ける、声に出して教員に自己紹介ができる。 音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。	9
	5月	Lesson 1 New Friends	・疑問詞で始まる疑問文は、文尾を下げたイントネーションで発話することができる。 ・出身地はどこかたずね、答える表現を使うことができる。 ・入りたいクラブをたずね、答える表現を使うことができる。 ・意味は何もたずねず、答えを推測することができる。 ・自然な口調で話された休日に関する質問が正しく理解できる。 ・きかれたことに対して、素早く適切に自分の休日の過ごし方を相手に知らせることができる。	音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。 自己紹介に関する表現を理解する。	9
		Lesson 2 Free Time	・tennis, weekendは、第1音節を強く発音することができる。 ・Saturday, usually は、第1音節を強く発音することができる。 ・通常の休日の過ごし方をたずね、答えることができる。 ・過去の休日の過ごし方をたずね、答えることができる。 ・休日の過ごし方の予想をたずね、答えることができる。	音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。 余暇に関する表現を理解する。	3
	6月	Lesson 2 Free Time	・自然な口調で話された休日に関する質問が正しく理解できる。 ・きかれたことに対して、素早く適切に自分の休日の過ごし方を相手に知らせることができる。 ・tennis, weekendは、第1音節を強く発音することができる。 ・Saturday, usually は、第1音節を強く発音することができる。 ・通常の休日の過ごし方をたずね、答えることができる。 ・過去の休日の過ごし方をたずね、答えることができる。 ・休日の過ごし方の予想をたずね、答えることができる。	音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。 余暇に関する表現を理解する。	6
7月		1学期期末考査	答案指導・解説		2

--	--	--	--	--

2 学 期	9 月	Lesson 3 Are You Okay?	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの表現であるHow are you?を、適切に発話することができる。 ・体調をたずねる表現Are you okay?文の最後のイントネーションは上げて発話することができる。 ・体調を答える表現(I'm not feeling well. I have a ~. I feel ~.)を適切に発話することができる。 ・相手の体調が悪いことを同情し、アドバイスをする表現(That's too bad. You should ~.)を適切に発話することができる。 ・あいさつの表現であるHow are you?を使うことができる。 ・体調をたずねる表現Are you okay?を使うことができる。 ・体調を答える表現(I'm not feeling well. I have a ~. I feel ~.)を使うことができる。 ・相手の体調が悪いことを同情し、アドバイスをする表現(That's too bad. You should ~.)を適切に発話することができる。 	<p>音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。</p> <p>体調に関する表現を理解する。</p>	6
	1 0 月	Lesson 3 Are You Okay?	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの表現であるHow are you?を、適切に発話することができる。 ・体調をたずねる表現Are you okay?文の最後のイントネーションは上げて発話することができる。 ・体調を答える表現(I'm not feeling well. I have a ~. I feel ~.)を適切に発話することができる。 ・相手の体調が悪いことを同情し、アドバイスをする表現(That's too bad. You should ~.)を適切に発話することができる。 	<p>音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。</p> <p>体調に関する表現を理解する。</p>	3
	1 1 月	Lesson 4 Our School	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の大きさ、特徴(有名なもの、こと)、行事日程について、正しい表現を使ってたずねたり、答えたりすることができる。 ・相手の学校に関して積極的に関心を示し、質問し、自分の学校について話したりながら対話を継続することができる。 ・SPEAKINGでは、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を創造的に変えて表現することができる。 ・教科書p.27のSOUNDSで示されているように、文の中で強く発音された単語は、その文の意味を理解するのに重要であることを理解することができる。 ・学校の大きさをたずね、答える表現を使うことができる。 ・学校の特徴(有名なもの、こと)、行事日程について、正しい表現を使ってたずねたり、答えたりすることができる。 	<p>音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。</p> <p>学校について話しをする際の表現を理解する。</p>	9
1 2 月	2学期期末考査	答案指導・解説			2

3 学 期	1 月	Lesson 5 Weather	<ul style="list-style-type: none"> What is the weather forecast for tomorrow?の疑問文とIt will be cloudy.で始まる未来形を用いた天気予報の表現で、文の区切りに注意して言うことができる。 ある場所の天気や気候によって、sunny, cloudy, rainy, snowy, windyなどの天気の表現を使い分けたり hot, cool, dry, cold, humidなどの気候を示す表現を使ったりするなど、場面によって適切な対話をするすることができる。 SPEAKINGでは、最も適切だと思われる語句を選んで、場面に応じて文を変えて表現することができる。 天気予報の表現で、文の区切りに注意することができる。 今日の天気をたずねる表現を使うことができる。 今日の天気を答える表現を使うことができる。 明日の天気予報をたずねる表現を使うことができる。 明日の天気予報を答える表現を使うことができる。 	音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。 天候に関する表現を理解する。	9
	2 月	Lesson 6 TV Programs	<ul style="list-style-type: none"> 疑問詞で始まる疑問文とDo you~?で始まる疑問文の文尾のイントネーションの違いを正しく使い分けすることができる。 好きなもの(こと、人)について、正しい表現を使ってたずね、答えることができる。 相手の好きなもの(こと、人)に積極的に関心を持ち、対話を続けることができる。 Do you~?で始まる疑問文は、文尾を上げたイントネーションで発話することができる。 あるもの(こと、人)が好きかどうかをたずね、答えることができる。 好きなもの(こと)の種類をたずね、答えることができる。 気に入っているもの(こと)は何かをたずね、答えることができる。 	音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。 テレビ番組に関する表現を理解する。	10
3 月		学年末考査	答案指導・解説		2
					70

教科 外国語

科目 英語会話

対象 4年 A組 ~ 年 組

教科担当者名 4年 A組 年 組 印

使用教科書 Select English Conversation

教科担当者名 年 組 年 組 印

使用教材 教科書・ワークシート

教科担当者名 年 組 年 組 印

学期	月	指導内容	科目 英語会話 【年間授業計画】 の具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定時数
1 学期	4 月	Self-introduction	英語で自己紹介ができるようになる。	簡単な英語で自己紹介が書ける、声に出して教員に自己紹介ができる。 音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。	8
	5 月	Lesson7 Talking on a Cell Phone 携帯電話	携帯電話に関する固有の表現などを覚える。 ・相手の許可を求めるCan I ~?の表現 ・willを使った未来表現 ・現在完了形の完了用法	音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。 携帯電話に関する表現を理解する。	8
		Lesson8 Telling the Way 道案内	道を歩いてどこかへ行く際の道のたずね方、答え方を学ぶ。 ていねいなたずね方を学ぶ。 ・SVOOの文型 ・道案内で用いる命令文 ・Couldを使ったたずね方	音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。 道案内に関する表現を理解する。	8
6 月	Lesson 9 Kyoto 観光案内	目的地までの交通機関をどのように利用するのか、また時間はどのくらいかかるのかについての基本表現を自然にできるよう暗唱する。 ・疑問詞 Where, How などを用いた尋ね方 ・How many -, How long - を用いた数、距離を尋ねる表現	音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。 観光案内に関する表現を理解する。	8	
7 月		1学期期末考査	答案指導・解説		2

--	--	--	--	--

2 学 期	9 月	Lesson 10 Shopping 買い物	<p>買い物場面でのたずね方・答え方などを「セーターを買ってみる」という例において学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・What size～? How much～?といったサイズ、値段をたずねる表現と答え方 ・May I help you? Show me another one, please. などの買い物の慣用表現 	<p>音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。</p> <p>買い物に関する表現を理解する</p>	8
	1 0 月	Lesson 11 Restaurant 食事	<p>レストランで食べたい料理・飲み物などをたずねたり、逆にたずねられた場合のそれらに対する答え方の基本表現に慣れ、自然な形で自己表現できるよう暗唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Would you -? という丁寧な尋ね方。 ・Anything else?という、省略した尋ね方。 ・不定詞の形容詞用法 	<p>音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。</p> <p>レストランの表現を理解する。</p>	8
	1 1 月	Lesson 12 Making a Plan 約束	<p>約束をする際の基本表現に慣れ、自然な形で表現できるよう暗唱する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Let's を用いた相手を誘う表現 ・How about -? を用いた「提案・申し出」の表現 ・Shall we -? 「相手の意思を問う」尋ね方。 	<p>音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。</p> <p>約束をする際の表現を理解する</p>	8
	1 2 月	2学期期末考査	答案指導・解説		2

3 学 期	1 月	Lesson 13 Future Jobs 将来やりたいこと	<p>高校生として今なりたい職業を英語で表現してみる。 将来なりたい職業やその理由などを英語を通して楽しく表現してみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞 What -? Why-? を用いての尋ね方 ・Because を用いた答え方 ・be going to -, be planning to - などの未来表現 	<p>音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。</p> <p>職業に関する表現を理解する。</p>	8
	2 月	学年末考査	答案指導・解説		2
	3 月				

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 家庭科 科目 家庭総合

教科: 家庭科 科目: 家庭総合 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 A組~ 組

使用教科書: (第一学習社)

教科 家庭科 の目標:

【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかわりについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合 の目標: 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている、	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力がある。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、社会生活に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の充実に向上を図ろうとする実践的な態度である。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元1章 これからの生き方と家族 【知識及び技能】 人の一生について、様々な生き方があることを知るとともに、生活課題について意思決定していくことの重要性について理解することの重要性について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていく。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活および、職業生活について、考察するとともに、生活資源を活用して生活設計を工夫すること。	・人の一生を生涯発達の視点でとらえる ライフステージ表 ワークライフバランス 世帯の捉え方 配偶者選択と結婚行動の変化 現行民法	【知識及び技能】 人の一生について、様々な生き方があることを知るとともに、生活課題について意思決定していくことの重要性について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活および、職業生活について、考察するとともに、生活資源を活用して生活設計を工夫している。	○		○	7
B 単元2章 次世代をはぐむ 【知識及び技能】 乳幼児の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について、子供の発達に応じて適切に関わるための技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 子供を産み育てることの意義や、保育の重要性について考え、子供の健やかな発達を支えるために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性を考察するとともに、子供との適切な関わり方を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 学校やちいきにおいて、幼稚園や保育所及び、認定こども園などの乳幼児または近隣の小学校低学年児童との触れ合いや交流を持つよう努める。	・子どもをそだてること 妊娠の経過と母胎の健康 新生児の運動機能の発達 乳幼児の言語の発達 幼児の遊びを知る 地域社会と子育て支援 子どもの人権	【知識及び技能】 乳幼児の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について、子供の発達に応じて適切に関わるための技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 子供を産み育てることの意義や、保育の重要性について考え、子供の健やかな発達を支えるために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性を考察するとともに、子供との適切な関わり方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 学校やちいきにおいて、幼稚園や保育所及び、認定こども園などの乳幼児または近隣の小学校低学年児童との触れ合いや交流を持つよう努めている。	○	○	○	9

子 期							
C 単元6章 衣生活を作る	<p>【知識及び技能】 被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生、および被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な知識、技能を身につけていること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージの特徴や課題に注目し、身体特性と被服の機能及び着想について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に衣生活を営むことが出来るよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着想や日本の衣文化の継承・創造について主体的に考察し、工夫すること。</p>	<p>・ 高校生の衣生活 被服の保健衛生上の機能 自分らしく装う 既製服の表示 被服素材と性能 ・ 洗濯方法としくみ その表示 被服の手入れと保管 伝統的衣文化（ミニ着物） 持続的な世界の衣生活</p>	<p>【知識及び技能】 被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生、および被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な知識、技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージの特徴や課題に注目し、身体特性と被服の機能及び着想について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に衣生活を営むことが出来るよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着想や日本の衣文化の継承・創造について主体的に考察し、工夫している。</p>				8
定期考査				○	○		1
6章 衣生活を作る2	<p>被服の仕組みと作り 自身が着用するカーゴパンツ作り 型紙作製 祭壇 しつけ ミシン 縫い裾始末 ウェストゴム通し アイロン仕上げ</p>						8
5章 経済生活をつくる	<p>【知識・技能】 生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解し、情報の収集・整理が適切にできること。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活における経済の情報リテラシーについて正しく活用する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 消費者の権利と責任を自覚して行動しようとしている。</p>	<p>・ ライフステージと収入支出 社会保障制度 売買契約と消費者問題（ネットショッピングDVD） 悪質商法のロールプレイング 消費者支援の法律</p>	<p>【知識・技能】 生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解し、情報の収集・整理が適切にできている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活における経済の情報リテラシーについて正しく活用している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 消費者の権利と責任を自覚して行動している。</p>				18
D 単元ホームプロジェクト	<p>【知識及び技能】 ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ホームプロジェクトを自己の課題を持って取り組む。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践する。</p>	<p>・ 家庭での問題を調べる 課題を持つ一計画を立てる一冬休みに実践する</p>	<p>【知識及び技能】 ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ホームプロジェクトを自己の課題を持って取り組んでいる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践している。</p>	○	○	○	2
定期考査				○	○		1

<p>D 単元ホームプロジェクト</p> <p>【知識及び技能】 ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ホームプロジェクトを自己の課題を持って取り組む。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践する。</p>	<p>・調べたことを絵や分にして発表する。</p>	<p>【知識及び技能】 ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ホームプロジェクトを自己の課題を持って取り組んでいる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践している。</p>	○	○	○	2
<p>B5章 食生活をつくる</p> <p>【知識・技能】 おいしさの構成要素や食品の栄養的特質と調理上の性質、栄養の特徴、食品衛生について科学的に理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けるとともに健康や環境に配慮した食生活を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 健康や環境に配慮した自己と家族の食事、日本の文化の継承・創造について考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 食生活を取り巻くかだいや食の安全と衛生、日本と世界の食文化まど食と人とのかかわりについて積極的に関わる。</p>	<p>・自身の食生活を振り返る 健康と食生活 近年の食生活の変化 地球規模で考える食-食料自給率を通して 栄養素-炭水化物・資質・タンパク質・無機質（ミネラル）ビタミン 食中毒都食の安全 4群で考えるバランスの取れた食事 調理実習-日常に生かそう</p>	<p>【知識・技能】 おいしさの構成要素や食品の栄養的特質と調理上の性質、栄養の特徴、食品衛生について科学的に理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けるとともに健康や環境に配慮した食生活を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 健康や環境に配慮した自己と家族の食事、日本の文化の継承・創造について考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 食生活を取り巻くかだいや食の安全と衛生、日本と世界の食文化まど食と人とのかかわりについて積極的に関わる。</p>	○	○		13
<p>定期考査</p>			○	○		1
						合計
						70

年間授業計画様式例

都立豊島高等学校（定時制） 令和5年度 教科家庭科目家庭総合 年間授業計画

教科：家庭科 科目：家庭総合 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組

使用教科書：（東京書籍）

使用教材：（無し）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	第6章 P150～153 食生活をつくる 自身の食生活の課題を学ぶ	2年時の実習内容の食材摂取量を栄養価の観点から調べる	食材の量感の目安を知る。	4

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p data-bbox="136 368 331 400">食生活をつくる</p> <p data-bbox="165 536 562 568">生涯の健康を見通した食事計画</p>	<p data-bbox="710 405 1693 496">栄養バランスの良い食事について知り、献立を立てて、4つの食品群に分けて、食材の分量から食品成分表を活用して、栄養計算をして、バランスの良い食事の献立を知る。</p>	<p data-bbox="1711 373 2074 464">4つの食品群を知り、バランスの良い献立を立てる事ができる。</p>	<p data-bbox="2136 539 2152 563">8</p>

5
月

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	第7章 衣生活をつくる 4、衣服を作ってみよう。	衣生活の知識と技術を習得する。 衣生活の自立に必要な技能を身につける。	技能 衣服の機能について理解し制作している。	8

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月		採寸してミシンを使って衣服を作る。	ミシンを使って、直線や曲線を縫うことができる。	2

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	衣服材料を構成、作成、展示	<p>文化祭でてんじる衣服のせいさくをする。</p> <p>衣生活作成に必要な技能をみにつける、</p>	着用できるまで仕上げられている。(展示)	8

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	<p>第3章 高齢社会を生きる</p> <p>社会はどう高齢化するか。</p> <p>高齢期の生活を支援する仕組み</p> <p>高齢者の介護を学ぼう</p>	<p>高齢者の生活に関心を持ち、未来の自分の生活として捉えることができる。</p> <p>我が国の高齢期の実情を知り、高齢者福祉の現状と課題について理解する。</p>	<p>日常的な介護技術の基本を実践する際の心構えをみにつけている。</p>	8

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	第6章 食生活をつくる－2 調理実習	基本的な調理技術を学び、日常食を作れるようになる。	食生活をより良くする為の調理に関する基本的な技術を身に着け、調理実習に取り組むことができる。	8

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	学期末テストに向けて振り返り	衣服と高齢期の内容を振り返る	<p>衣服構成、製作方法を理解している。</p> <p>高齢社会の問題点を把握出来ている。</p>	6

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	第4章 共に生きる	福祉や社会保障制度について知る ボランティア活動について知る、	自分なりにボランティア活動に関わってみようとする。	8

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>第9章 生活設計</p> <p>生涯を見通す私と仕事</p>	<p>キャリアの視点から、生涯設計に必要な要素を知る。</p>	<p>自己実現を目指す生活設計を 考え立案することが出来る。</p>	<p>5</p>

2
月

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	家庭総合のまとめ（生活設計）	自分の目指すライフスタイルを考えて、高校卒業後の生活設計をたてる、	2年間学んできた家庭科を振り返り、家庭生活を創造する。	5

高等学校 令和5年度（1学年用）教科

情報 科目 情報 I

教科：情報

科目：情報 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年

使用教科書：

（実教出版 図説情報 I

）

教科 情報

の目標：

【知識及び技能】情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会における主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技術を見つける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を考える力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
オリエンテーション	1. 中学校までの生徒の知識・技能・経験などの調査 2. コンピュータの起動や終了方法 3. 自己紹介などの文章を作成し、共有フォルダに保存する実習 4. コンピュータ教室でのマナー	・コンピュータの起動と終了ができる。 ・自分のフォルダ内に実習課題を保存することができる。			○	6
今までの情報技術とこれからの情報技術	1. 情報と情報社会の特徴 2. 情報化の進展と情報技術 3. 情報社会における個人の責任	・データと情報の違いについて理解し、事例をあげて説明することができるか。 ・IoT、人工知能(AI)の意味とその活用について理解しているか。 ・位置情報サービスなど各種サービスの光と影を理解した上で、適切な活用ができる技能を身に付けられたか。	○	○	○	8
定期考査						1
1 学期 1 問題解決	1. 問題解決の手順 2. 情報の収集と整理 3. 情報の分析 <表計算ソフト>	・問題や問題解決の意味、問題解決の基本的な手順について理解しているか。 ・検索エンジンを利用し、さまざまな情報から必要な情報を収集する技能を身に付けているか。 ・問題解決のためのグループでの取り組み(ブレインストーミングなどの議論)に、積極的に参画しているか。 ・情報を効果的に分析し、まとめる方法について理解したか。	○	○	○	10
2 情報社会における法規と制度	1. 情報の管理と保護 2. 知的財産権と産業財産権 3. 著作権	・個人情報やプライバシー、個人情報の保護や管理と関連権利(プライバシー権、肖像権、パブリシティ権)について学習できたか。 ・知的財産権の概念(知的財産権の分類、産業財産権や著作権の構成)について学習できたか。 ・知的財産権の問題に関し、自らWebサイトで調べるなど、主体的・意欲的に取り組んでいるか。	○	○	○	4
定期考査						0

2 学期	3 情報セキュリティと個人が行う対策	1. 認証とパスワード 2. 情報の暗号化 3. コンピュータウイルスと対策	・個人で行うセキュリティ対策である認証の概要について理解したか。 ・安全性の高いパスワードとその管理について理解したか。 ・ネットワーク上での暗号化通信や無線LANでの暗号化対策について理解したか。 ・コンピュータウイルスなどマルウェアの概要と対策について理解したか。	○	○	○	6
	4 メディア	1. メディアの機能と特性 2. メディアリテラシー	・メディアの機能と特性について理解したか。 ・メディアの分類や情報メディア、表現メディア、伝達メディアの特性について理解したか。 ・メディアリテラシーやクロスチェックの考え方について理解したか。 ・さまざまな情報メディアの特徴について理解したか。	○	○	○	8
	定期考査						1
	5 コミュニケーション	1. 効果的なコミュニケーション 2. インターネット上のコミュニケーション	・コミュニケーションの定義、手段、形態について理解したか。 ・インターネット上のコミュニケーションの種類と特徴について理解したか。 ・インターネット上のコミュニケーションのメリットとデメリット(即時性、利便性、保存性、匿名)について理解したか。	○	○	○	8
	6 情報デザインと表現の工夫	1. 情報デザインの考え方 2. 表現の工夫	・デザインの基本、色彩、ユニバーサルデザイン、アクセシビリティについて理解したか。 ・身のまわりにある、文字や音声、図やイラストによる情報で使われている工夫について理解したか。	○	○	○	4
	定期考査						0
3 学期	7 情報の表し方	1. デジタル表現の特徴 2. 2進数と情報量	・アナログとデジタル、デジタルデータの特徴(情報の正確な再現・情報の加工の容易さなど)について理解したか。 ・情報量、ビット、バイト、2進法、2進数について理解したか。	○	○	○	5
	8 コンピュータでのデジタル表現	1. 数値の表現 2. 文字のデジタル表現 3. 音の表現 4. 画像の表現 5. 動画の表現とファイル形式	・コンピュータ内部での数値(2進数, 16進数)の表現について理解したか。 ・コンピュータにおける文字コード、文字のデジタル表現について理解したか。 ・音のデジタル化、周波数(ヘルツ)、標準化・量子化・符号化、標準化周期や標準化周波数について理解したか。 ・ファイルの種類(音・画像)について理解したか。	○	○	○	8
	定期考査						1
							合計
※3 1単位35時間になるように作成してください→							70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年

使用教科書： (実教出版 図説情報 I)

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会における主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技術を見つける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を考える力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 アルゴリズムと基本構造	1 アルゴリズムとは 2 アルゴリズムの基本構造	・アルゴリズムの基本やフローチャート(流れ図)について理解したか。	○	○	○	6
2 プログラムの基礎(1)	1 簡単なプログラムの作成(VBA) 2 プログラムと変数	・複数の画像を表示するプログラムの作成方法を理解できたか。 ・プログラムにおける変数の役割について理解したか。	○	○	○	8
1 学期 定期考査						1
3 プログラムの基礎(2)	1 順次探索 2 二分探索	・順次探索について理解したか。 ・二分探索について理解したか。	○	○	○	9
4 プログラムの応用	1 配列とリスト 2 関数	・配列やリストを使って効率よく数値を処理できるプログラムを作る方法について理解できたか。	○	○	○	4
定期考査						1

2 学期	5 モデル化	1 モデルとは 2 モデル化(図的モデル)	・モデル化の手順や分類について理解できたか。 ・図的モデルの表現方法、簡単な自動販売機の動作をモデル化する方法を理解できたか。	○	○	○	6
	6 シミュレーション	1 シミュレーションとは 2 シミュレーション(確定的モデル) 3 シミュレーション(確率的モデル)	・シミュレーションの手順と注意点について理解できたか。 ・確定的モデル、確率的モデルをシミュレーションするための手順について理解できたか。	○	○	○	8
	定期考査						1
	7 データの活用	1 データの収集 2 データの分析	・データの種類と、データの活用の手順や方法について理解できたか。 ・データの尺度水準、ビッグデータとデータマイニングについて理解できたか。 ・散布図と箱ひげ図によるデータ分析の方法について理解できたか。	○	○	○	8
	8 ネットワークの仕組み	1 ネットワークの構成とプロトコル 2 インターネットの仕組み	・ネットワークとその構成について理解できたか。 ・インターネットに接続する機器の概要について理解できたか。 ・通信規約の役割について理解できたか。 ・IPアドレスや、ドメイン名、URL、DHCPサーバ、DNS、HTMLについて理解できたか。	○	○	○	4
定期考査						1	
3 学期	9 情報システムとサービス	1 さまざまな情報システム 2 データの流れと情報システム 3 データベースとデータモデル	・インターネットで提供されるサービスとその活用について理解できたか。 ・GPSを使ったサービスについて理解できたか。 ・データベースの意味と役割、リレーショナル型データベースの機能について理解できたか。 ・データモデルの違いと活用例について理解できたか。	○	○	○	4
	10 情報セキュリティ	1 情報セキュリティと対策 2 暗号技術	・情報の安全を守るために、組織が行っている情報セキュリティ対策について理解できたか。 ・情報セキュリティの3要素(機密性、安全性、可用性)について理解できたか。 ・情報セキュリティを確保するための対策(ファイアウォールの意味やアクセス制御など)について理解できたか。 ・暗号化を活用した技術について理解できたか。 ・暗号化の技術とデジタル署名について理解できたか。 ・デジタル署名や認証局について理解できたか。	○	○	○	8
	定期考査						1
							合計
							70

※3 1単位35時間になるように作成してください→

教科 情報

科目 社会と情報

対象 3年 A組 ~ 年 組

教科担当者名 3年 A組 年 組

使用教科書 実教出版 最新社会と情報 新訂版

教科担当者名 年 組 年 組

使用教材 無

教科担当者名 年 組 年 組

学期	月	指導内容	科目 社会と情報の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数
1 学期	4 月	オリエンテーション	生徒の知識・技能・経験を調査する コンピュータの起動・保存・終了方法を習得する	実際に作業できたか	3
		ビジネスと情報	ビジネスと情報との関わりについて文書主義の原則という観点から理解する	内容が理解できたか	3
		文書作成機器とワープロソフト	コンピュータとワープロソフトの関係について理解する	内容が理解できたか	3
1 学期	5 月	ワープロソフトのキーボード操作	ワープロソフトの基本的な操作方法について理解する	内容が理解できたか	3
		文字の入力練習	ワープロソフトの文字入力方法を理解をする	内容が理解できたか	
1 学期	6 月	コンピュータウイルス	コンピュータウイルスの種類とその対策について理解する	内容が理解できたか	3
		文書の構成要素と配置	文書の構成、構成要素の配置について理解する	内容が理解できたか	3
		文書作成の要領	文書作成の要領について理解する	内容が理解できたか	3
		いろいろな編集機能	ワープロソフトのいろいろな編集機能について理解する	内容が理解できたか	3
		プレゼンテーションソフトの学習1	プレゼンテーションソフトの使い方を学ぶ	内容が理解できたか	3
1 学期	7 月	プレゼンテーションソフトの学習2	見やすいプレゼンテーションについて学ぶ	内容が理解できたか	3

--	--	--	--	--

9月	構成機能の意味と使い方	構成機能の使い方について理解する	内容が理解できたか	4
	表計算ソフトのデータ入力	表計算ソフトの入力方法について理解する	使い方が理解できたか	4
	表計算ソフトの関数の利用1	表計算ソフトの関数(SUM・AVERAGE・MAX・MINなど)の使い方について理解する	使い方が理解できたか	4
	表計算ソフトの関数の利用2	表計算ソフトの関数(IF)の使い方について理解する	使い方が理解できたか	4
10月	情報機器とデジタル	情報機器の種類と特徴について理解する	内容が理解できたか	4
	デジタル表現	アナログとデジタルの違いについて理解する	内容が理解できたか	4
	知的財産権	著作権と産業財産権について理解する	内容が理解できたか	4
11月	表計算ソフトの関数の利用3	いろいろな関数の使い方や視覚的に優れたグラフ選択について理解する	内容が理解できたか	4
	表計算ソフトの関数の利用4	いろいろな関数の使い方や視覚的に優れたグラフ選択について理解する	内容が理解できたか	4
	インターネットによる受送信	電子メールの特長を理解し、トラブルに巻き込まれないようにする	内容が理解できたか	4
12月	効果的な文書の作成	ワープロソフトを使用した効果的な文書作成方法について理解する	内容が理解できたか	4

1 月	プレゼンテーションソフトの学習3	生徒目線による豊島高校の学校案内を作成する1	客観的な原稿とスライド作成ができるか	4
	プレゼンテーションソフトの学習4	生徒目線による豊島高校の学校案内を作成する2	客観的な原稿とスライド作成ができるか	4
	プレゼンテーションソフトの学習5	生徒目線による豊島高校の学校案内を作成する3	客観的な原稿とスライド作成ができるか	4
3 学 期 2 月	検定問題1	情報処理検定問題を練習する	合格点までできたか	4
	検定問題2	情報処理検定問題を練習する	合格点までできたか	4
	検定問題3	情報処理検定問題を練習する	合格点までできたか	4
3 月	まとめ	1年間の授業のまとめ	1年間の授業内容が理解できたか	4

高等学校 令和5年度（2学年用）教科 総合的な探求の時間 科目 総合的な探求の時間

教科： 総合的な探求の時間 科目： 総合的な探求の時間 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～

使用教科書： （ 無し ）

教科 総合的な探求の時間 の目標：

- 【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協動的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 総合的な探求の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協動的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元 探求学習「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」</p> <p>【知識及び技能】 生徒自身が「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」などの中から探求すべき課題を自分の力で見つけることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集する力を身に付ける。 ・必要な情報を収集し、類別して蓄積できる力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・探究的な活動を通して自己を見つめ、将来を考え、自分の個性や特徴に向き合おうとする態度を養う。 ・探究的な活動を通して、異なる多様な意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとする態度を養う。 ・自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末の活用 ・全教師で指導にあたり、グループ学習を指導する。 ・生徒のタブレットを、情報の収集、写真撮影などに利用する。 ・図書館やパソコン教室も利用する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」などの中から探求すべき課題を自分の力で見つけることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集できる。 ・必要な情報を収集し、類別して蓄積できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究的な活動を通して自己を見つめ、将来を考え、自分の個性や特徴に向き合おうとしている。 ・探究的な活動を通して、異なる多様な意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとしている。 ・自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとしている。 	○	○	○	15

年間授業計画様式例

豊島高等学校 令和5年度 教科 総合的な探求の時間 年間授業計画

教科： 総合的な探求の時間 単位数： 1単位

対象学年組： 第3学年A組

使用教科書： (無し)

使用教材： (無し)

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な探求の時間」とは ・「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」などの中から探求すべき課題を自分の力で見つける 	総合的な探求の時間で学習することを理解する。	観察	2

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・「探求学習」とは ・課題を決める ・探求学習計画シートを書かせる ・担当教諭と相談する 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な活動を通して自己を見つめ, 将来を考え, 自分の個性や特徴に向き合おうとする態度を養う。 	観察 ワークシートの記述	4

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネット、新聞や文献を参照する。 ・データの集計や分析、アンケート調査などを行う。 ・調べたことに基づき探求し、制作を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとする態度を養う。 	観察 ポスター作成内容	3

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネット、新聞や文献を参照する。 ・データの集計や分析、アンケート調査などを行う。 ・調べたことに基づき探求し、制作を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとする態度を養う。 	観察 ポスター作成内容	4

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭に向けた展示準備 	<ul style="list-style-type: none"> 完成品を効果的に展示する方法を模索し、積極的に取り組むことができる。 	観察	3

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・「SDG s の17の目標」とは ・講座の流れについてのガイダンスを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「SDG s の17の目標」を参考に、講座の流れを理解する。 	観察	5

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	<ul style="list-style-type: none"> SDGsに係る講演、ワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> 取組の中で考えた課題を解決するための具体策を実践し、成果及び課題について提案する。 	観察 ワークシートの記述	5

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	<ul style="list-style-type: none"> SDGsに係る講演、ワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> 取組の中で考えた課題を解決するための具体策を実践し、成果及び課題について提案する。 	観察 ワークシートの記述	2

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	<ul style="list-style-type: none"> SDGsに係る講演、ワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> 取組の中で考えた課題を解決するための具体策を実践し、成果及び課題について提案する。 	観察 ワークシートの記述	3

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りや探究を通して学んだことを問 いかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDG s に関連する探究を通して学んだことをまとめる。 	観察	4

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				

年間授業計画様式例

豊島高等学校 令和5年度 教科 総合的な探求の時間 年間授業計画

教科： 総合的な探求の時間 単位数： 1単位

対象学年組： 第4学年A組

使用教科書： (無し)

使用教材： (無し)

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な探求の時間」とは ・「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」などの中から探求すべき課題を自分の力で見つける 	総合的な探求の時間で学習することを理解する。	観察	2

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・「探求学習」とは ・課題を決める ・探求学習計画シートを書かせる ・担当教諭と相談する 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な活動を通して自己を見つめ, 将来を考え, 自分の個性や特徴に向き合おうとする態度を養う。 	観察 ワークシートの記述	4

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネット、新聞や文献を参照する。 ・データの集計や分析、アンケート調査などを行う。 ・調べたことに基づき探求し、制作を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとする態度を養う。 	観察 ポスター作成内容	3

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネット、新聞や文献を参照する。 ・データの集計や分析、アンケート調査などを行う。 ・調べたことに基づき探求し、制作を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとする態度を養う。 	観察 ポスター作成内容	4

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭に向けた展示準備 	<ul style="list-style-type: none"> 完成品を効果的に展示する方法を模索し、積極的に取り組むことができる。 	観察	3

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・「SDG s の17の目標」とは ・講座の流れについてのガイダンスを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「SDG s の17の目標」を参考に、講座の流れを理解する。 	観察	5

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	<ul style="list-style-type: none"> SDGsに係る講演、ワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> 取組の中で考えた課題を解決するための具体策を実践し、成果及び課題について提案する。 	観察 ワークシートの記述	5

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	<ul style="list-style-type: none"> SDGsに係る講演、ワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> 取組の中で考えた課題を解決するための具体策を実践し、成果及び課題について提案する。 	観察 ワークシートの記述	2

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	<ul style="list-style-type: none"> SDGsに係る講演、ワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> 取組の中で考えた課題を解決するための具体策を実践し、成果及び課題について提案する。 	観察 ワークシートの記述	3

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りや探究を通して学んだことを問 いかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsに関連する探究を通して学んだことをまとめる。 	観察	4

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				

高等学校 令和5年度（1学年用）教科

人間と社会 科目 人間と社会

教科：人間と社会

科目：人間と社会

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 A組

使用教科書：（「人間と社会」改訂版）

教科 人間と社会

の目標：

【知識及び技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 社会的現実を照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 演習や体験活動に主体的・協動的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を含め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 人間と社会

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。	社会的現実を照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	演習や体験活動に主体的・協動的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を含め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当時数	
1 学 期	(1) 「人間と社会」における演習の内容 ア 主として自分自身や人との関わりに関すること ・ スマートフォンを利用した高度な情報化社会に生きていることを自覚し遵法正精神、公德心に関する道徳的価値を深め、自己を理解し、自己を管理する能力を育成する。	<演習>第6章 スマートフォン時代のコミュニケーション ①新しいメディア時代の生き方について学ぶ、②スマートフォン時代を生きていることについて議論する、③ケーススタディ、④チャレンジ ・ 「人間と社会」改訂版 ・ 一人1台端末の活用	【知識・技能】 インターネットやスマートフォンの利用状況、その活用のメリットや課題などの情報を読み取り、整理・分析し、理解している。学んだことを生かして話し合いを進めたり、自分の考えを効果的に説明したりすることができる。 【思考・判断・表現】 遵法精神、公德心について、思考し、判断するとともに、自己の考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会を構成する当事者として社会の中に存在する様々な課題に向き合い、社会の一員として積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	(2) 「人間と社会」における体験活動の内容 オ 環境保全を図る活動 ・ 校外での活動で生徒相互の交流を深め、親睦を図る ・ 集団行動をすることで生活の規律を学ぶ	<体験活動>お台場海浜公園 環境美化活動 ・ お台場海浜公園の清掃活動 ・ 事前学習 ・ 一人1台端末の活用	【知識・技能】 お台場海浜公園周辺などの情報を整理・分析し、理解するとともに、自己に必要な正しい情報を収集することができる。 【思考・判断・表現】 体験活動における課題を発見し、解決に向けて工夫するとともに、自らの考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会を構成する当事者として社会の中に存在する様々な課題に向き合い、社会の一員として積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	(1) 「人間と社会」における演習の内容 イ 主として集団や社会との関わりに関すること ・ 他者と協働しながらよりよい人間関係を築くことについて考え、社会参画、公共の精神に関する道徳的価値を深め、社会の一員として主体的に行動し、チームで力を発揮する能力を育成する。	<演習>第8章 チームを動かす力 ①チームで活動することについて考える、②チームで活動する意義について考え、議論する、③ケーススタディ、④チャレンジ ・ 「人間と社会」改訂版 ・ 一人1台端末の活用	【知識・技能】 リーダーシップの発揮の仕方等について、情報を整理し、理解している。解決のための話し合いを進めたり、自分の考えを効果的に説明したりすることができる。 【思考・判断・表現】 社会参画、公共の精神について、思考し、判断するとともに、自己の考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会を構成する当事者として社会の中に存在する様々な課題に向き合い、社会の一員として積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○	○	○	4
(2) 「人間と社会」における体験活動の内容 エ 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 ・ 学級で協力してオリジナルな作品を作り上げ、文化的な催しを追求する。	<体験活動>文化祭（準備含む） ・ 学級単位の文化的催し ・ 事前準備 ・ 一人1台端末の活用	【知識・技能】 文化的催しに関する情報を整理・分析し、理解するとともに、自己に必要な正しい情報を収集することができる。 【思考・判断・表現】 文化的催しにおける課題を発見し、解決に向けて工夫するとともに、自らの考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会を構成する当事者として社会の中に存在する	○	○	○	4	

		様々な課題に向き合い、社会の一員として積極的に課題解決に取り組もうとしている。			
--	--	---	--	--	--

2 学 期	<p>(1) 「人間と社会」における演習の内容 イ 主として集団や社会との関わりに関する事 ・ワーク・ライフ・バランスについて理解し、相互理解に関する道徳的価値を深め、自分自身、そして共に生きる人たちが求める生き方を互いに理解し合い、尊重する態度を育成する。</p>	<p><演習>第9章 ワーク・ライフ・バランス ①ワーク・ライフ・バランスについて学ぶ、②ワーク・ライフ・バランスを実現するために大切な考え方について議論する、③ケーススタディ、④チャレンジ ・「人間と社会」改訂版 ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 ワーク・ライフ・バランスについて示されたグラフなどから情報を読み取り、整理・分析し、理解している。解決のための話し合いを進めたり、自分の考えを効果的に説明したりすることができる。 【思考・判断・表現】 相互理解について、思考し、判断するとともに、自己の考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会を構成する当事者として社会の中に存在する様々な課題に向き合い、社会の一員として積極的に課題解決に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3
	<p>(2) 「人間と社会」における体験活動の内容 オ 環境保全を図る活動 ・校外での活動で生徒相互の交流を深め、親睦を図る ・集団行動をすることで生活の規律を学ぶ</p>	<p><体験活動>上野恩賜公園 清掃活動 ・上野恩賜公園の清掃活動 ・事前学習 ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 上野恩賜公園周辺などの情報を整理・分析し、理解するとともに、自己に必要な正しい情報を収集することができる。 【思考・判断・表現】 体験活動における課題を発見し、解決に向けて工夫するとともに、自らの考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会を構成する当事者として社会の中に存在する様々な課題に向き合い、社会の一員として積極的に課題解決に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>(1) 「人間と社会」における演習の内容 イ 主として集団や社会との関わりに関する事 ・社会や環境などに配慮した消費について考え、公正、公平、社会正義に関する道徳的価値を深め、社会を形成する能力、主体性を育成する。</p>	<p><演習>第11章 消費者市民社会 ①消費者が参加する社会とは、②消費行動について議論する、③ケーススタディ、④チャレンジ ・「人間と社会」改訂版 ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 社会や環境に配慮した消費について考え、児童労働や低賃金労働問題、環境汚染、持続可能な社会の実現に向けた世界の動きなどを理解している。自分の消費活動に責任をもつことができる。 【思考・判断・表現】 公正、公平、社会正義について、思考し、判断するとともに、自己の考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会を構成する当事者として社会の中に存在する様々な課題に向き合い、社会の一員として積極的に課題解決に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
3 学 期	<p>(1) 「人間と社会」における演習の内容 イ 主として集団や社会との関わりに関する事 ・主権者・成年としての心構え・自覚を養い、社会参画、公共の精神に関する道徳的価値を深め、社会を形成する能力、主体性を育成する。</p>	<p><演習>第19章 主権者・成年としての権利と責任 ①主権者・成年になることについて学ぶ、②主権者・成年としての自覚を養うことについて議論する、③ケーススタディ、④チャレンジ ・「人間と社会」改訂版 ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 「10代の国政選挙投票率の推移」について示されたグラフなどから情報を読み取り、整理・分析し、理解している。学んだことを生かして話し合いを進めたり、自分の考えを効果的に説明したりすることができる。 【思考・判断・表現】 社会参画、公共の精神について、思考し、判断するとともに、自己の考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会を構成する当事者として社会の中に存在する様々な課題に向き合い、社会の一員として積極的に課題解決に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3
	<p>【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>	<p><演習>探究活動 ①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ、表現 ・「人間と社会」改訂版 ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。 【思考・判断・表現】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。</p>	○	○	○	7
							合計
							35